

交付図書の訂正について

令和5年8月4日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事」に係る交付図書の内容を変更します。

令和5年12月6日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社

支社長 堀 圭 一

【訂正図書】

- ・⑦【金抜設計書】道東自動車 狩勝第一トンネル工事
- ・⑧【特記仕様書】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑨【割掛対象表】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑩【割掛対象表参考内訳書】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑪【数量明細表】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・②【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・③【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑥【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑦【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑧【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑨【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑩【設計図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事
- ・⑪【参考図】道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

金抜設計書
単価表

誤

_____ B- 7 頁

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	8 - (1)	コンクリート A 1 - 3 (T)	840	m ³			
74	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	490	m ³			
75	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1	36	m ³			
76	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T)	11,814	m ³			
77	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T s)	45	m ³			
78	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	105	m ³			
79	8 - (1)	コンクリート T 1 - 4	116	m ³			
80	8 - (1)	コンクリート T 3 - 4	16,839	m ³			
81	8 - (2)	型わく C	2,501	m ²			
82	8 - (2)	型わく C (T)	1,960	m ²			
83	8 - (2)	型わく D	48	m ²			
84	8 - (2)	型わく T	46,199	m ²			

_____ 頁

正

_____ B- 7 頁

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	8 - (1)	コンクリート A 1 - 3 (T)	840	m ³			
74	8 - (1)	コンクリート B 2 - 1	490	m ³			
75	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1	36	m ³			
76	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T)	11,814	m ³			
77	8 - (1)	コンクリート C 2 - 1 (T s)	45	m ³			
78	8 - (1)	コンクリート D 1 - 1	105	m ³			
79	8 - (1)	コンクリート T 1 - 4	116	m ³			
80	8 - (1)	コンクリート T 3 - 4	16,839	m ³			
81	8 - (2)	型わく C	2,506	m ²			
82	8 - (2)	型わく C (T)	1,960	m ²			
83	8 - (2)	型わく D	48	m ²			
84	8 - (2)	型わく T	46,199	m ²			

_____ 頁

正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

正

正誤区分

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
145	12 - (11)	裏面排水工 B	106	m			
146	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	2,320	m			
147	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	414	m			
148	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	141	m			
149	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転)	880	日			
150	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)	1,257	日			
151	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	370	m ³			
152	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式			
153	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式			
154	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤A 2	59,136	kg			
155	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤B	1,778	kg			
156	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤C 2	260,128	kg			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
145	12 - (11)	裏面排水工 B	106	m			
146	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	2,351	m			
147	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	414	m			
148	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	141	m			
149	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転)	880	日			
150	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)	1,257	日			
151	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	370	m ³			
152	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式			
153	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式			
154	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤A 2	59,136	kg			
155	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤B	1,778	kg			
156	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤C 2	260,128	kg			

正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

B- 14 頁

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
157	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	1,197	日			
158	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式			
159	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式			
160	12 - (17)	切羽監視員	1,752	人・日			
161	13 - (1)	路盤準備工 B	667	m ²			
162	14 - (9)	マルチング工 シートマルチング（ロール） T y p e E	1,910	m ²			
163	15 - (1)	防護柵 G r - C - 4 E	10	m			
164	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 1 （1）	74	m			
165	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 3 （1）	15	m			
166	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 4 （1）	987	m			
167	15 - (6)	立入防止柵の出入口 一般型積雪地用 S 4 （1）	3	箇所			
168	17 - (31)	はく落防止対策工 A	93	m ²			

B- 14 頁

金抜設計書

単価表

B- 14 頁

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
157	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	1,197	日			
158	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式			
159	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式			
160	12 - (17)	切羽監視員	1,787	人・日			
161	13 - (1)	路盤準備工 B	667	m ²			
162	14 - (9)	マルチング工 シートマルチング（ロール） T y p e E	1,910	m ²			
163	15 - (1)	防護柵 G r - C - 4 E	10	m			
164	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 1 （1）	74	m			
165	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 3 （1）	15	m			
166	15 - (5)	立入防止柵 兼用型 積雪地用 S 4 （1）	987	m			
167	15 - (6)	立入防止柵の出入口 一般型積雪地用 S 4 （1）	3	箇所			
168	17 - (31)	はく落防止対策工 A	93	m ²			

B- 14 頁

正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分
特記仕様書 1-5 施工 地域区分及 び間接工事 費率適用区 分	誤	<div>1. 工事概要</div> <div>1-1 工事名 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事</div> <div>1-2 道路名 道東自動車道</div> <div>1-3 工事箇所 自) 北海道勇払郡占冠村字上トマム (STA. 1031+00) (北緯 43 度 2 分 36 秒, 東経 142 度 40 分 7 秒) 至) 北海道空知郡南富良野町字落合 (STA. 1073+00) (北緯 43 度 3 分 38 秒, 東経 142 度 42 分 52 秒)</div> <div>1-4 工事延長 総延長 約 4,000 m 土工延長 約 1,650 m トンネル延長 約 2,350 m 狩勝第一トンネル</div> <div>1-5 施工地域区分及び間接工事費率適用区分 本工事の実施工場の施工地域区分は以下のとおりである。 ・市街地部 (D I D 地区及びこれに準ずる地区) が施工場所に含まれない工事 ・本工事の間接工事費率適用区分は「新設」、工種区分は「トンネル」である</div> <div>1-6 コリンスへの工事概要及び位置情報の入力 土木共通仕様書 1-5 4 「コリンスへの登録」について、位置情報及び工事概要の項目には、特記仕様書の 1-3 工事箇所及び 1-4 工事延長の記載内容を入力することとする。</div> <div>2. 適用する共通仕様書 契約書第 1 条に規定する「土木工事共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和 5 年 7 月版とする。なお、共通仕様書に記載された適用すべき諸基準については入札公告時点の最新版を適用するものとする。</div> <div>3. 監督員及び主任補助監督員の権限</div> <div>3-1 監督員の権限 契約書第 9 条第 2 項の規定に基づき監督員に委任した権限について、共通仕様書 1-6-1 「監督員の権限」の規定に次を加えるものとする。 (1 6)「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成 1 2 年 5 月 3 1 日法律第 1 0 4 号) 第 1 2 条第 1 項の規定に基づく説明先及び同法第 1 8 条第 1 項の規定に基づく報告先 (1 7)特記仕様書 3 1-6-2 の規定に基づき行う工事費構成内訳書の提示、実績変更対象費の増加費用の協議、決定、通知</div> <div>1</div>
	正	<div>1. 工事概要</div> <div>1-1 工事名 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事</div> <div>1-2 道路名 道東自動車道</div> <div>1-3 工事箇所 自) 北海道勇払郡占冠村字上トマム (STA. 1031+00) (北緯 43 度 2 分 36 秒, 東経 142 度 40 分 7 秒) 至) 北海道空知郡南富良野町字落合 (STA. 1073+00) (北緯 43 度 3 分 38 秒, 東経 142 度 42 分 52 秒)</div> <div>1-4 工事延長 総延長 約 4,000 m 土工延長 約 1,650 m トンネル延長 約 2,350 m 狩勝第一トンネル</div> <div>1-5 施工地域区分及び間接工事費率適用区分 本工事の実施工場の施工地域区分は以下のとおりである。 ・市街地部 (D I D 地区及びこれに準ずる地区) が施工場所に含まれない工事 ・2 車線以上 (片側 1 車線以上) かつ断面交通量が 5, 0 0 0 台/日以上に該当しない車道において車線変更を促す規制を行う場合の工事 (常時全面通行止めの場合を含む) ・本工事の間接工事費率適用区分は「新設」、工種区分は「トンネル」である</div> <div>1-6 コリンスへの工事概要及び位置情報の入力 土木共通仕様書 1-5 4 「コリンスへの登録」について、位置情報及び工事概要の項目には、特記仕様書の 1-3 工事箇所及び 1-4 工事延長の記載内容を入力することとする。</div> <div>2. 適用する共通仕様書 契約書第 1 条に規定する「土木工事共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和 5 年 7 月版とする。なお、共通仕様書に記載された適用すべき諸基準については入札公告時点の最新版を適用するものとする。</div> <div>3. 監督員及び主任補助監督員の権限</div> <div>3-1 監督員の権限 契約書第 9 条第 2 項の規定に基づき監督員に委任した権限について、共通仕様書 1-6-1 「監督員の権限」の規定に次を加えるものとする。 (1 6)「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成 1 2 年 5 月 3 1 日法律第 1 0 4</div> <div>1</div>

正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																						
特記仕様書 29-6-1 構造物用コンクリート	誤	<div>29-6 コンクリート構造物工</div> <div>29-6-1 構造物用コンクリート</div> <div>(1) コンクリートの種別</div> <div>共通仕様書8-2-3「コンクリートの種別」に次を追加する。</div> <div>なお、(T)は本坑のトンネルコンクリート、(Ts)は避難連絡坑の床版コンクリートに適用する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th colspan="2">使用区分</th><th>使用構造物</th></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの</td><td></td><td>本坑の坑門工</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの</td><td></td><td>本坑のインバート</td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの</td><td></td><td>避難連絡坑の床版</td></tr></table> <div>(2) 材料</div> <div>コンクリートに使用する材料は、共通仕様書8-2-4「材料」によるほか、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材齢28日における圧縮強度(N/mm2)</th><th>粗骨材の最大寸法(mm)</th><th>スランプ(c m)注1)</th><th>空気量(%)</th><th>セメントの種類</th><th>摘要</th></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>30</td><td>25/20</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td>注2</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>18</td><td>40</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td></td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>18</td><td>40</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td></td></tr></table> <div>(注1) コンクリートの打込み箇所における値、打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。</div> <div>(注2) コンクリートA1-3(T)の繊維混入率は「トンネル施工管理要領(繊維補強コンクリート編)」表-4.3で求まる最低混入率0.3%とする。</div> <div>(3) 支払</div> <div>共通仕様書8-2-17「支払」に次を追加する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>8-(1) コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>m³</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>m³</td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>m³</td></tr></table> <div>39</div>	単価表の項目	使用区分		使用構造物	A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの		本坑の坑門工	C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		本坑のインバート	C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		避難連絡坑の床版	単価表の項目	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要	A1-3 (T)	30	25/20	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種	注2	C2-1 (T)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種		C2-1 (Ts)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種		単価表の項目	検測の単位	8-(1) コンクリート		A1-3 (T)	m ³	C2-1 (T)	m ³	C2-1 (Ts)	m ³
	単価表の項目	使用区分		使用構造物																																																				
A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの		本坑の坑門工																																																					
C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		本坑のインバート																																																					
C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		避難連絡坑の床版																																																					
単価表の項目	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要																																																		
A1-3 (T)	30	25/20	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種	注2																																																		
C2-1 (T)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種																																																			
C2-1 (Ts)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種																																																			
単価表の項目	検測の単位																																																							
8-(1) コンクリート																																																								
A1-3 (T)	m ³																																																							
C2-1 (T)	m ³																																																							
C2-1 (Ts)	m ³																																																							
	正	<div>29-6 コンクリート構造物工</div> <div>29-6-1 構造物用コンクリート</div> <div>(1) コンクリートの種別</div> <div>共通仕様書8-2-3「コンクリートの種別」に次を追加する。</div> <div>なお、(T)は本坑のトンネルコンクリート、(Ts)は避難連絡坑の床版コンクリートに適用する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th colspan="2">使用区分</th><th>使用構造物</th></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの</td><td></td><td>本坑の坑門工</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの</td><td></td><td>本坑のインバート</td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの</td><td></td><td>避難連絡坑の床版</td></tr></table> <div>(2) 材料</div> <div>コンクリートに使用する材料は、共通仕様書8-2-4「材料」によるほか、次のとおりとする。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>材齢28日における圧縮強度(N/mm2)</th><th>粗骨材の最大寸法(mm)</th><th>スランプ(c m)注1)</th><th>空気量(%)</th><th>セメントの種類</th><th>摘要</th></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>30</td><td>25/20</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td>注2</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>18</td><td>40</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td></td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>18</td><td>40</td><td>8</td><td>4.5</td><td>普通ポルトランドセメント高炉セメントB種</td><td></td></tr></table> <div>(注1) コンクリートの打込み箇所における値、打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。</div> <div>(注2) コンクリートA1-3(T)の繊維混入率は「トンネル施工管理要領(繊維補強コンクリート編)」表-4.3で求まる最低混入率0.3%とする。なお、坑門工のインバート部は繊維を混入しないものとする。</div> <div>(3) 支払</div> <div>共通仕様書8-2-17「支払」に次を追加する。</div> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>8-(1) コンクリート</td><td></td></tr><tr><td>A1-3 (T)</td><td>m³</td></tr><tr><td>C2-1 (T)</td><td>m³</td></tr><tr><td>C2-1 (Ts)</td><td>m³</td></tr></table> <div>39</div>	単価表の項目	使用区分		使用構造物	A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの		本坑の坑門工	C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		本坑のインバート	C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		避難連絡坑の床版	単価表の項目	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要	A1-3 (T)	30	25/20	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種	注2	C2-1 (T)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種		C2-1 (Ts)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種		単価表の項目	検測の単位	8-(1) コンクリート		A1-3 (T)	m ³	C2-1 (T)	m ³	C2-1 (Ts)	m ³
単価表の項目	使用区分		使用構造物																																																					
A1-3 (T)	鉄筋量の比較的多い構造物の鉄筋コンクリートに使用するもので、繊維を混入したもの		本坑の坑門工																																																					
C2-1 (T)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		本坑のインバート																																																					
C2-1 (Ts)	鉄筋量の比較的小さい構造物の鉄筋コンクリートに使用するもの		避難連絡坑の床版																																																					
単価表の項目	材齢28日における圧縮強度(N/mm2)	粗骨材の最大寸法(mm)	スランプ(c m)注1)	空気量(%)	セメントの種類	摘要																																																		
A1-3 (T)	30	25/20	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種	注2																																																		
C2-1 (T)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種																																																			
C2-1 (Ts)	18	40	8	4.5	普通ポルトランドセメント高炉セメントB種																																																			
単価表の項目	検測の単位																																																							
8-(1) コンクリート																																																								
A1-3 (T)	m ³																																																							
C2-1 (T)	m ³																																																							
C2-1 (Ts)	m ³																																																							

正誤表(6)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																	
特記仕様書 29-7-1 トンネル掘削	誤	<div>29-7 トンネル工</div> <div>29-7-1 トンネル掘削</div> <div>(1) トンネル掘削方法</div> <div>共通仕様書 12-4-2 に規定するトンネル掘削方法は、以下のとおりとする。</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>掘削方式</th><th>掘削工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>補助ベンチ付き全断面</td><td>掘削は終点側坑口より行う</td></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>全断面早期閉合</td><td></td></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 避難連絡坑</td><td>爆破機械</td><td>全断面</td><td>掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による</td></tr></table> <div>※注1）発破方式は、供用路線への影響が軽微であると想定している発破方式の積算上の条件を明示したものであり、受注者はこの発破方式によらず供用路線への動的影響が4cm/secを超えることのないよう方式で掘削しなければならない。</div> <div>1）本トンネル工事は「設計要領第三集 トンネル 保全編（6）トンネル近接施工（令和5年7月）」に定義されるところの既設トンネルへの近接施工に該当する。そのため、本トンネル工事における爆破等の振動に伴う既設トンネルへの動的影響の許容振動速度は4cm/secとしなければならない。</div> <div>なお、試験発破の結果やトンネル掘削施工中の計測結果等により上記の発破方式だけでは供用路線への影響が軽減されず、発破方式の変更や追加の対策工等を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者として協議し定めるものとする。</div> <div>2）共通仕様書 12-3-2 「作業環境」に示す「ガイドライン」の措置を施すものとし、これらに要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div> <div>3）切羽崩落防止として行う鏝吹付けコンクリートの施工及び取壊し、処分（ただし、ずり処理工に含む分別・運搬は除く）に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div> <div>41</div>		施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考	狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き全断面	掘削は終点側坑口より行う	狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	全断面早期閉合		狩勝第一トンネル 避難連絡坑	爆破機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による
	施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考															
狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き全断面	掘削は終点側坑口より行う																
狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	全断面早期閉合																	
狩勝第一トンネル 避難連絡坑	爆破機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による																
正	<div>29-7 トンネル工</div> <div>29-7-1 トンネル掘削</div> <div>(1) トンネル掘削方法</div> <div>共通仕様書 12-4-2 に規定するトンネル掘削方法は、以下のとおりとする。</div> <table><tr><th>施工箇所</th><th>掘削方式</th><th>掘削工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>補助ベンチ付き全断面</td><td>掘削は終点側坑口より行う</td></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 本坑部</td><td>爆破</td><td>全断面早期閉合</td><td></td></tr><tr><td>狩勝第一トンネル 避難連絡坑</td><td>爆破機械</td><td>全断面</td><td>掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による※注2）</td></tr></table> <div>※注1）発破方式は、供用路線への影響が軽微であると想定している発破方式の積算上の条件を明示したものであり、受注者はこの発破方式によらず供用路線への動的影響が4cm/secを超えることのないよう方式で掘削しなければならない。</div> <div>※注2）割岩工法の施工に関わる特許料は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div> <div>1）本トンネル工事は「設計要領第三集 トンネル 保全編（6）トンネル近接施工（令和5年7月）」に定義されるところの既設トンネルへの近接施工に該当する。そのため、本トンネル工事における爆破等の振動に伴う既設トンネルへの動的影響の許容振動速度は4cm/secとしなければならない。</div> <div>なお、試験発破の結果やトンネル掘削施工中の計測結果等により上記の発破方式だけでは供用路線への影響が軽減されず、発破方式の変更や追加の対策工等を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者として協議し定めるものとする。</div> <div>2）共通仕様書 12-3-2 「作業環境」に示す「ガイドライン」の措置を施すものとし、これらに要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div> <div>3）切羽崩落防止として行う鏝吹付けコンクリートの施工及び取壊し、処分（ただし、ずり処理工に含む分別・運搬は除く）に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div> <div>41</div>		施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考	狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き全断面	掘削は終点側坑口より行う	狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	全断面早期閉合		狩勝第一トンネル 避難連絡坑	爆破機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による※注2）	
施工箇所	掘削方式	掘削工法	備考																
狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	補助ベンチ付き全断面	掘削は終点側坑口より行う																
狩勝第一トンネル 本坑部	爆破	全断面早期閉合																	
狩勝第一トンネル 避難連絡坑	爆破機械	全断面	掘削は本坑より行い、発破方式は制御発破（電子遅延式雷管）による※注1） 機械掘削の方式は割岩工法による※注2）																

正誤表(7)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																
特記仕様書 29-7-1 トンネル掘削	誤	<div>(2) トンネル掘削の種別 共通仕様書 12-4-4 「トンネル掘削の種別」は、次のとおりとする。</div> <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>○-a-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-b-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>DⅢa-(○)-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>DⅢa-S○-B （水抜有・無）</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む</td></tr><tr><td>○-L-B</td><td>爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-B-S</td><td>爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-K-S1</td><td>機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-K-S2</td><td>機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削</td><td></td></tr></tbody></table> <div>(3) 支払 共通仕様書 12-4-9に次の項目を追加する。</div> <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>12-(1) トンネル掘削</td><td></td></tr><tr><td>○-a-B</td><td>m</td></tr><tr><td>○-b-B</td><td>m</td></tr><tr><td>DⅢa-(○)-B</td><td>m</td></tr><tr><td>DⅢa-S○-B（水抜○）</td><td>m</td></tr><tr><td>○-L-B</td><td>m</td></tr><tr><td>○-B-S</td><td>m</td></tr><tr><td>○-K-S1</td><td>m</td></tr><tr><td>○-K-S2</td><td>m</td></tr></tbody></table> <div>42</div>		単価表の項目	区分内容	備考	○-a-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-b-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	DⅢa-(○)-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	DⅢa-S○-B （水抜有・無）	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む	○-L-B	爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-B-S	爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-K-S1	機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-K-S2	機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削		単価表の項目	検測の単位	12-(1) トンネル掘削		○-a-B	m	○-b-B	m	DⅢa-(○)-B	m	DⅢa-S○-B（水抜○）	m	○-L-B	m	○-B-S	m	○-K-S1	m	○-K-S2	m
	単価表の項目	区分内容	備考																																															
○-a-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-b-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
DⅢa-(○)-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
DⅢa-S○-B （水抜有・無）	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む																																																
○-L-B	爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-B-S	爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-K-S1	機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-K-S2	機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削																																																	
単価表の項目	検測の単位																																																	
12-(1) トンネル掘削																																																		
○-a-B	m																																																	
○-b-B	m																																																	
DⅢa-(○)-B	m																																																	
DⅢa-S○-B（水抜○）	m																																																	
○-L-B	m																																																	
○-B-S	m																																																	
○-K-S1	m																																																	
○-K-S2	m																																																	
	正	<div>(2) トンネル掘削の種別 共通仕様書 12-4-4 「トンネル掘削の種別」は、次のとおりとする。</div> <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>○-a-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-b-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>DⅢa-(○)-B</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>DⅢa-S○-B （水抜有・無）</td><td>爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削（インバート部の板埋戻し、再掘削を含む）で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む</td></tr><tr><td>○-L-B</td><td>爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-B-S</td><td>爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-K-S1</td><td>機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削</td><td>全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む</td></tr><tr><td>○-K-S2</td><td>機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削</td><td></td></tr></tbody></table> <div>(3) 支払 共通仕様書 12-4-9に次の項目を追加する。</div> <table><thead><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr></thead><tbody><tr><td>12-(1) トンネル掘削</td><td></td></tr><tr><td>○-a-B</td><td>m</td></tr><tr><td>○-b-B</td><td>m</td></tr><tr><td>DⅢa-(○)-B</td><td>m</td></tr><tr><td>DⅢa-S○-B（水抜○）</td><td>m</td></tr><tr><td>○-L-B</td><td>m</td></tr><tr><td>○-B-S</td><td>m</td></tr><tr><td>○-K-S1</td><td>m</td></tr><tr><td>○-K-S2</td><td>m</td></tr></tbody></table> <div>42</div>		単価表の項目	区分内容	備考	○-a-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-b-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	DⅢa-(○)-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	DⅢa-S○-B （水抜有・無）	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削（インバート部の板埋戻し、再掘削を含む）で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む	○-L-B	爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-B-S	爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-K-S1	機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む	○-K-S2	機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削		単価表の項目	検測の単位	12-(1) トンネル掘削		○-a-B	m	○-b-B	m	DⅢa-(○)-B	m	DⅢa-S○-B（水抜○）	m	○-L-B	m	○-B-S	m	○-K-S1	m	○-K-S2	m
単価表の項目	区分内容	備考																																																
○-a-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-b-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
DⅢa-(○)-B	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削で補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m）を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
DⅢa-S○-B （水抜有・無）	爆破掘削方式による本坑部の上下半及びインバートの掘削（インバート部の板埋戻し、再掘削を含む）で、補助工法（注入式長尺鋼管先受工 L=12.5m及び長尺鋼管鏡補強工L=13.5m）及び水抜ボーリング有又は無のパターンに用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む また、水抜有については、水抜き孔の施工に要する時間も含む																																																
○-L-B	爆破掘削方式による非常駐車帯部の上下半及びインバートの掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-B-S	爆破掘削方式による避難連絡坑部の掘削で、制御発破工法を用いるもの	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-K-S1	機械掘削方式による避難連絡坑部の掘削	全体サイクルタイムには鏡吹付けコンクリートを含む																																																
○-K-S2	機械掘削方式による避難連絡坑部（供用路線接続部拉幅断面）の掘削																																																	
単価表の項目	検測の単位																																																	
12-(1) トンネル掘削																																																		
○-a-B	m																																																	
○-b-B	m																																																	
DⅢa-(○)-B	m																																																	
DⅢa-S○-B（水抜○）	m																																																	
○-L-B	m																																																	
○-B-S	m																																																	
○-K-S1	m																																																	
○-K-S2	m																																																	

正誤表(8)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

誤

特記仕様書
2 9 - 7 - 7
覆工防水工

正誤区分

(4) 支払

計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置及び撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
1 2 - (8) 計測LB	
地中変位測定 L = 6. 0 m	箇所
ロックボルトの軸力試験 L = 3. 0 m (1 7 0 k N)	本
計測工C	
内空変位測定	箇所
天端沈下測定	箇所
覆工コンクリート応力測定	箇所
坑内温度測定	箇所
振動測定	箇所

2 9 - 7 - 7 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書 1 2 - 1 9 - 1 に規定する汚濁水処理設備の規模、汚濁水の水質、排水基準等は次のとおりとする。

なお、設計想定値以上の湧水が発生した場合は監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	内容	備考
設備規模	30m ³ /h	ポータブル型
流入原水量	28. 0m ³ /h	設計想定値
流入原水 (S S 濃度)	3, 000ppm	設計想定値
流入原水 (p H 値)	12	設計想定値
処理水基準 (S S 濃度)	200 (150) ppm	() 内は日間平均
処理水基準 (p H 値)	5. 8 ~ 8. 6	
原水沈降量	20%	
脱水ケーキ含水率	40%	
設置期間	約 42 ヶ月	掘削開始～覆工完了

2 9 - 7 - 8 フリッカ設備工

共通仕様書 1 2 - 2 0 - 1 に規定するフリッカ設備の容量は次のとおりとする。ただし、今後の電力協議により設備容量の変更が必要となった場合は、監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	容量	備考
フリッカ設備	900 Kvar	

47

正

単価表の項目

検測の単位

1 2 - (8) 計測LB

地中変位測定 L = 6. 0 m

箇所

ロックボルトの軸力試験 L = 3. 0 m (1 7 0 k N)

本

計測工C

内空変位測定

箇所

天端沈下測定

箇所

覆工コンクリート応力測定

箇所

坑内温度測定

箇所

振動測定

箇所

2 9 - 7 - 7 覆工防水工

(1) 種別

共通仕様書 1 2 - 1 3 - 3 に次の項目を追加する。

単価表の項目	トンネル掘削方式の区分	区分内容
A - S	爆破掘削方式	避難連絡坑における無筋コンクリートの覆工部分に使用するもの
	機械掘削方式	避難連絡坑における無筋コンクリートの覆工部分に使用するもの

(4) 支払

共通仕様書 1 2 - 1 3 - 6 に次の項目を追加する。

単価表の項目	検測の単位
12 - (9) 覆工防水工	
A - S	㎡

2 9 - 7 - 8 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書 1 2 - 1 9 - 1 に規定する汚濁水処理設備の規模、汚濁水の水質、排水基準等は次のとおりとする。

なお、設計想定値以上の湧水が発生した場合は監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	内容	備考
設備規模	30m ³ /h	ポータブル型
流入原水量	28. 0m ³ /h	設計想定値
流入原水 (S S 濃度)	3, 000ppm	設計想定値
流入原水 (p H 値)	12	設計想定値
処理水基準 (S S 濃度)	200 (150) ppm	() 内は日間平均
処理水基準 (p H 値)	5. 8 ~ 8. 6	
原水沈降量	20%	

47

正誤表(9)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

誤

特記仕様書
29-7-8
フリッカ設置工

正誤区分

正

(4) 支払

計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置及び撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
12-(8) 計測LB	
地中変位測定 L=6.0m	箇所
ロックボルトの軸力試験 L=3.0m (170kN)	本
計測工C	
内空変位測定	箇所
天端沈下測定	箇所
覆工コンクリート応力測定	箇所
坑内温度測定	箇所
振動測定	箇所

29-7-7 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書12-19-1に規定する汚濁水処理設備の規模、汚濁水の水質、排水基準等は次のとおりとする。

なお、設計想定値以上の湧水が発生した場合は監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	内容	備考
設備規模	30m ³ /h	ポータブル型
流入原水量	28.0m ³ /h	設計想定値
流入原水（SS濃度）	3,000ppm	設計想定値
流入原水（pH値）	12	設計想定値
処理水基準（SS濃度）	200(150) ppm	()内は日間平均
処理水基準（pH値）	5.8～8.6	
原水沈降量	20%	
脱水ケーキ含水率	40%	
設置期間	約42ヶ月	掘削開始～覆工完了

29-7-8 フリッカ設備工

共通仕様書12-20-1に規定するフリッカ設備の容量は次のとおりとする。ただし、今後の電力協議により設備容量の変更が必要となった場合は、監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	容量	備考
フリッカ設備	900 Kvar	

47

29-7-9 フリッカ設備工

共通仕様書12-20-1に規定するフリッカ設備の容量は次のとおりとする。ただし、今後の電力協議により設備容量の変更が必要となった場合は、監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	容量	備考
フリッカ設備	900 Kvar	

29-8 マルチング工

(1) 種別

マルチング工の単価表の項目の種別は、共通仕様書14-6-7「種別」に示す他、次のとおりとする。

単価表の項目	区分内容	図面に示す記号
マルチング工 シートマルチング(ロール) Type E	側道側のり屑・のり尻に設置するもの のり面小段に設置するもの	防草シート

(2) 支払

マルチング工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1㎡当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うマルチング工の設置に必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
14-(9) マルチング工 シートマルチング (ロール) Type E	㎡

29-9 雑工

29-9-1 簡易舗装工

(1) 種別

簡易舗装工の単価表の項目の種別は、共通仕様書18-5-1「定義」に示す他、次を追加する。なお、aは各路盤工の厚さを示す。

単価表の項目	区分内容
簡易舗装工 粒度調整路盤工 下層路盤 (t=a cm)	切込砕石を用いるもの (注1)
簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t=a cm)	路盤用切込砕石を用いるもの

正誤表(10)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																		
特記仕様書 29-13 地盤改良工	誤	<p>立木伐採工 処分費（幹）及び（枝・葉）の支払は、再資源化処理施設への運搬及び処分費等立木伐採工 処分費（幹）及び（枝・葉）の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－(2) 立木伐採工</td><td></td></tr><tr><td>A 1</td><td>本</td></tr><tr><td>A 2</td><td>本</td></tr><tr><td>A 3</td><td>本</td></tr><tr><td>A 4</td><td>本</td></tr><tr><td>A 5</td><td>本</td></tr><tr><td>雑木伐採A</td><td>m</td></tr><tr><td>処分費（幹）</td><td>t</td></tr><tr><td>処分費（枝・葉）</td><td>t</td></tr></table> <p>29-13 地盤改良工</p> <p>(1) 定義</p> <p>地盤改良工とは、設計図書及び監督員の指示に従い、軟弱地盤を対象として現地発生土と改良固化材をバックホウによる直接攪拌混合及びスラリー噴射方式による機械攪拌混合を行い、必要な地盤支持力を得るものを行い、改良形式は全面改良とする。</p> <p>(2) 適用すべき諸基準</p> <p>道路土工－軟弱地盤対策工指針（平成24年度版）【平成24年8月（公社）日本道路協会】セメント系固化材による地盤改良マニュアル（第5版）【令和3年10月（一社）セメント協会】</p> <p>(3) 種別</p> <p>地盤改良工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th><th>適用</th></tr><tr><td>中層混合処理A</td><td>中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合</td><td>改良深度 L ≦ 5 m</td></tr><tr><td>中層混合処理B</td><td>中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合</td><td>改良深度 5 m < L ≦ 8 m</td></tr><tr><td>固化材A</td><td>地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。</td><td>フレコン （1 t バック）</td></tr></table> <p>(4) 配合</p> <p>地盤改良工に使用するセメント系改良に必要な材料及び暫定添加量は、次のとおりとする。</p> <p>53</p>		単価表の項目	検測の単位	特－(2) 立木伐採工		A 1	本	A 2	本	A 3	本	A 4	本	A 5	本	雑木伐採A	m	処分費（幹）	t	処分費（枝・葉）	t	単価表の項目	区分内容	適用	中層混合処理A	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 L ≦ 5 m	中層混合処理B	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 5 m < L ≦ 8 m	固化材A	地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。	フレコン （1 t バック）	
	単価表の項目	検測の単位																																		
特－(2) 立木伐採工																																				
A 1	本																																			
A 2	本																																			
A 3	本																																			
A 4	本																																			
A 5	本																																			
雑木伐採A	m																																			
処分費（幹）	t																																			
処分費（枝・葉）	t																																			
単価表の項目	区分内容	適用																																		
中層混合処理A	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 L ≦ 5 m																																		
中層混合処理B	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 5 m < L ≦ 8 m																																		
固化材A	地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。	フレコン （1 t バック）																																		
	正	<table><tr><td>中層混合処理B</td><td>中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合</td><td>改良深度 5 m < L ≦ 8 m</td></tr><tr><td>固化材A</td><td>地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。</td><td>フレコン （1 t バック）</td></tr></table> <p>中層混合処理の施工に関する特許料は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p> <p>(4) 配合</p> <p>地盤改良工に使用するセメント系改良に必要な材料及び暫定添加量は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>施工箇所</th><th>一軸圧縮強度 （現場必要強度）</th><th>一軸圧縮強度 （室内目標強度）</th><th>暫定添加量</th></tr><tr><td>中層混合処理A</td><td>L型擁壁</td><td>0.47 N/mm²</td><td>1.41 N/mm²</td><td>150 kg/m³</td></tr><tr><td>中層混合処理B</td><td>起点側坑門工</td><td>0.47 N/mm²</td><td>1.41 N/mm²</td><td>150 kg/m³</td></tr></table> <p>1）現地発生土の土質性状や固化材添加量等の施工条件が大きく異なることが予想されるため、配合試験により添加量を定めるものとし、これに要する費用について、監督員と受注者として協議し定めるものとする。</p> <p>(5) 施工</p> <p>1）施工に先立ち、現地地盤から採取したサンプリング試料により室内配合試験を実施し、セメントの必要添加量・水セメント比を決定する。</p> <p>2）サンプリング試料の採取箇所及び採取数は下表のとおりとする。</p> <table><tr><th>施工箇所</th><th>採取数</th><th>サンプル層数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>L型擁壁（STA.1070+80、1072+00）</td><td>2</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>起点側坑門工（STA.1042+65）</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr></table> <p>3）現場強度試験のサンプリングの試験基準は、上記によるものとし、採取箇所については監督員が指示するものとする。</p> <p>4）上記1）～2）に要する費用については、契約単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。なお、上記の2）において、現場強度試験にて必要となる強度が得られない場合は、監督員の指示に従うものとする。</p> <p>5）施工前に、選定した機械機材を現地に設置し、監督員の指示による現地改良試験を行い、着底管理基準の設定が得られるまで本施工は行わないものとする。</p> <p>6）現地改良試験を実施した箇所の試験体を取り、目標強度が得られているかを確認する。また、試験体を用いて六価クロム溶出試験を実施し、環境基準値を超えないことを確認する。</p> <p>なお、セメント固化材は溶出の少ない高炉セメントB種を想定しているが、溶出量が土壌環境基準（0.05 mg/L以下）を超える場合には、監督員と協議するものとする。</p> <p>7）施工基面を整形後、所定の添加量を噴射し軟弱地盤中の改良剤が一様に拡散し地盤全体にわたって均等になるように混合攪拌するものとする。</p> <p>54</p>		中層混合処理B	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 5 m < L ≦ 8 m	固化材A	地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。	フレコン （1 t バック）	単価表の項目	施工箇所	一軸圧縮強度 （現場必要強度）	一軸圧縮強度 （室内目標強度）	暫定添加量	中層混合処理A	L型擁壁	0.47 N/mm ²	1.41 N/mm ²	150 kg/m ³	中層混合処理B	起点側坑門工	0.47 N/mm ²	1.41 N/mm ²	150 kg/m ³	施工箇所	採取数	サンプル層数	備 考	L型擁壁（STA.1070+80、1072+00）	2	1		起点側坑門工（STA.1042+65）	1	1	
中層混合処理B	中層混合処理機（トレンチャ式）を用いて行う、軟弱土層と改良固化材のスラリー噴射方式による機械攪拌混合	改良深度 5 m < L ≦ 8 m																																		
固化材A	地盤改良工に使用する固化材は、セメント系固化材（高炉セメントB種）とする。	フレコン （1 t バック）																																		
単価表の項目	施工箇所	一軸圧縮強度 （現場必要強度）	一軸圧縮強度 （室内目標強度）	暫定添加量																																
中層混合処理A	L型擁壁	0.47 N/mm ²	1.41 N/mm ²	150 kg/m ³																																
中層混合処理B	起点側坑門工	0.47 N/mm ²	1.41 N/mm ²	150 kg/m ³																																
施工箇所	採取数	サンプル層数	備 考																																	
L型擁壁（STA.1070+80、1072+00）	2	1																																		
起点側坑門工（STA.1042+65）	1	1																																		

正誤表(11)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																	
特記仕様書 2 9－1 3 地盤改良工	誤	<p>した施工計画書を監督員へ提出し、確認を得なければならない。</p> <p>(7) 余剰土 中層混合処理A及びBの施工に伴い、改良後の地盤は土質や改良剤の添加量に応じて盛り上がり、余剰土が発生する。余剰土の処理は別途監督員の指示によるものとし、これに要する費用は監督員と受注者として協議して定めるものとする。</p> <p>(8) 数量の検測 地盤改良工 中層混合処理A及びBの数量の検測は設計数量(m³)で、固化材は設計数量(t)で行うものとする。</p> <p>(9) 支払 地盤改良工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1 m³又は1 t 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行²地盤改良工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－(3) 地盤改良工</td><td></td></tr><tr><td>中層混合処理A</td><td>m³</td></tr><tr><td>中層混合処理B</td><td>m³</td></tr><tr><td>固化材A</td><td>t</td></tr></table> <p>2 9－1 4 高盛土排水工</p> <p>(1) 定義 高盛土排水工とは、設計図書及び監督員の指示に従って盛土内部の湧水を排出する目的で、盛土内部に排水層を設置することをいう。</p> <p>(2) 種別 高盛土排水工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>高盛土排水工 水平排水層</td><td>盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの</td></tr><tr><td>高盛土排水工 基盤排水層</td><td>盛土基盤部のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに盛土外に排水することを目的に旧のり面に沿って排水層(t＝1 0 0 cm)を設置するもの</td></tr></table> <p>(3) 材料 高盛土排水工に使用する材料は、本特記仕様書1 7－1 (5)に示す規定に適合する材料とする。</p> <p>(4) 施工 1) 高盛土排水工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従って均一な厚さに敷き均すものとする。</p> <p>55</p>		単価表の項目	検測の単位	特－(3) 地盤改良工		中層混合処理A	m ³	中層混合処理B	m ³	固化材A	t	単価表の項目	区分内容	高盛土排水工 水平排水層	盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの	高盛土排水工 基盤排水層	盛土基盤部のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに盛土外に排水することを目的に旧のり面に沿って排水層(t＝1 0 0 cm)を設置するもの
	単価表の項目	検測の単位																	
特－(3) 地盤改良工																			
中層混合処理A	m ³																		
中層混合処理B	m ³																		
固化材A	t																		
単価表の項目	区分内容																		
高盛土排水工 水平排水層	盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの																		
高盛土排水工 基盤排水層	盛土基盤部のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに盛土外に排水することを目的に旧のり面に沿って排水層(t＝1 0 0 cm)を設置するもの																		
正	<p>8) 室内配合試験の結果をもとに得られた1 m³当たりの必要スラリー量を算出し、これを満足する改良機械を選定するとともに、打込み長及び地盤改良材の投入量を自己記録できる装置を備え付けたものでなければならない。施工中は改良深度及び範囲・スラリー使用量・攪拌時間の管理を行い、監督員に提出を求められた場合はこの記録を提出するものとする。</p> <p>9) 施工にあたっては、現地改良試験により確認した支持層天端での着底を行うものとする。</p> <p>(6) 施工管理及び品質管理 受注者は、施工に先立ち混合管理、出来形管理、品質管理、材料管理、機械器具管理を記載した施工計画書を監督員へ提出し、確認を得なければならない。</p> <p>(7) 余剰土 中層混合処理A及びBの施工に伴い、改良後の地盤は土質や改良剤の添加量に応じて盛り上がり、余剰土が発生する。余剰土の処理は別途監督員の指示によるものとし、これに要する費用は監督員と受注者として協議して定めるものとする。</p> <p>(8) 数量の検測 地盤改良工 中層混合処理A及びBの数量の検測は設計数量(m³)で、固化材は設計数量(t)で行うものとする。</p> <p>(9) 支払 地盤改良工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1 m³又は1 t 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行²材料の積卸し等地盤改良工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特－(3) 地盤改良工</td><td></td></tr><tr><td>中層混合処理A</td><td>m³</td></tr><tr><td>中層混合処理B</td><td>m³</td></tr><tr><td>固化材A</td><td>t</td></tr></table> <p>2 9－1 4 高盛土排水工</p> <p>(1) 定義 高盛土排水工とは、設計図書及び監督員の指示に従って盛土内部の湧水を排出する目的で、盛土内部に排水層を設置することをいう。</p> <p>(2) 種別 高盛土排水工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>高盛土排水工 水平排水層</td><td>盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの</td></tr></table> <p>55</p>		単価表の項目	検測の単位	特－(3) 地盤改良工		中層混合処理A	m ³	中層混合処理B	m ³	固化材A	t	単価表の項目	区分内容	高盛土排水工 水平排水層	盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの			
単価表の項目	検測の単位																		
特－(3) 地盤改良工																			
中層混合処理A	m ³																		
中層混合処理B	m ³																		
固化材A	t																		
単価表の項目	区分内容																		
高盛土排水工 水平排水層	盛土部の小段のり尻に地山からの湧水や地下水を面的に集水し、速やかに小段から盛土外に排水することを目的に厚さ排水層(t＝3 0 cm)を設置するもの																		

正誤表(12)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

特記仕様書

3 1 - 7 - 1

対象となる項目

3 1 - 6 - 7 虚偽申告

受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び競争参加資格停止等の措置を行う場合がある。

3 1 - 6 - 8 疑義

疑義が生じた場合は、監督員と協議を行うものとする。

3 1 - 7 材料調達に伴う変更

3 1 - 7 - 1 対象となる項目

本工事の、「骨材」、「砕石」、「仮設材（鋼材）」については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当初調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に材料調達変更計画書（様式-1 3）を提出のうえ監督員と協議するものとする。また、協議の結果、監督員が指示した場合は、当該地区からの調達完了後、購入費用及び輸送費等に要した費用の証明書類（実際の取引伝票等）を添付した材料調達実績報告書（様式-1 4）を監督員へ提出するものとし、その費用について監督員と受注者で協議により定めるものとする。なお、受注者の都合で調達した資材は協議対象としないものとする。

資材名	規格	調達地域等
切込砂利・切込砕石	4 0 - 0 mm 8 0 - 0 mm	空知郡南富良野町
切込砂利・切込砕石	4 0 - 0 mm 8 0 - 0 mm NEXCO試験法I12及び JGS0172-2009適合品	空知郡南富良野町
骨材	コンクリート用細砂	空知郡南富良野町
骨材	コンクリート用砕石	空知郡南富良野町
骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町
骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町
仮設材（鋼材）	普通鋼矢板III型及びIV型	札幌市
避難連絡坑防護工（鋼材）	図面に記載	札幌市
仮栈橋（鋼材）	本特記仕様書2 9 - 2 0による	札幌市
仮設目隠板（鋼材）	図面に記載	札幌市

3 1 - 8 ICT土工を活用した工事に対する取扱いについて

本工事は、国土交通省が推進する i-Construction に基づき、生産性向上を図るため、受注者から ICT 土工に関する施工の提案ができる工事である。

受注者は、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合にその施工を行うことができるものとする。

なお、その施工に伴う費用については、発注者と受注者で協議して定めるものとする。

74

正

3 1 - 6 - 5 受注者の責めに帰す事由の増加費用

受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については設計変更の対象としない。

3 1 - 6 - 6 実績変更対象費に基づく間接工事費の増加費用の算定

実績変更対象費の支出実績を踏まえて設計変更する場合の増加費用の算定については、次のとおりとする。

（１）共通仮設費率は、土木工事積算基準に基づく算出額から間接工事費計画書（様式-9）に記載された共通仮設費率分の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。

（２）現場管理費は、土木工事積算基準に基づく算出額から間接工事費計画書（様式-9）に記載された現場管理費の合計額を差し引いた後、証明書類において確認された費用を加算して算出する。

（３）間接工事費の増加費用は、一般管理費等の費用を含む。

（４）なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。

3 1 - 6 - 7 虚偽申告

受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び競争参加資格停止等の措置を行う場合がある。

3 1 - 6 - 8 疑義

疑義が生じた場合は、監督員と協議を行うものとする。

3 1 - 7 材料調達に伴う変更

3 1 - 7 - 1 対象となる項目

本工事の、「骨材」、「砕石」、「仮設材（鋼材）」については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当初調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に材料調達変更計画書（様式-1 3）を提出のうえ監督員と協議するものとする。また、協議の結果、監督員が指示した場合は、当該地区からの調達完了後、購入費用及び輸送費等に要した費用の証明書類（実際の取引伝票等）を添付した材料調達実績報告書（様式-1 4）を監督員へ提出するものとし、その費用について監督員と受注者で協議により定めるものとする。なお、受注者の都合で調達した資材は協議対象としないものとする。

資材名	規格	調達地域等
切込砕石	4 0 - 0 mm	空知郡占冠村
切込砕石	8 0 - 0 mm	空知郡南富良野町 空知郡占冠村

74

正誤表(13)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																	
誤	特記仕様書 3 1－7－1 対象となる 項目	<p>3 1－6－7 虚偽申告</p> <p>受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び競争参加資格停止等の措置を行う場合がある。</p> <p>3 1－6－8 疑義</p> <p>疑義が生じた場合は、監督員と協議を行うものとする。</p> <p>3 1－7 材料調達に伴う変更</p> <p>3 1－7－1 対象となる項目</p> <p>本工事の、「骨材」、「砕石」、「仮設材（鋼材）」については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当初調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に材料調達変更計画書（様式-1 3）を提出のうえ監督員と協議するものとする。また、協議の結果、監督員が指示した場合は、当該地区からの調達完了後、購入費用及び輸送費等に要した費用の証明書類（実際の取引伝票等）を添付した材料調達実績報告書（様式-1 4）を監督員へ提出するものとし、その費用について監督員と受注者で協議により定めるものとする。なお、受注者の都合で調達した資材は協議対象としないものとする。</p> <table><tr><th>資材名</th><th>規格</th><th>調達地域等</th></tr><tr><td>切込砂利・切込砕石</td><td>4 0－0 mm 8 0－0 mm</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>切込砂利・切込砕石</td><td>4 0－0 mm 8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>コンクリート用細砂</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>コンクリート用砕石</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>吹付けコンクリート用砕石</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>吹付けコンクリート用砕石</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>仮設材（鋼材）</td><td>普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>避難連絡坑防護工（鋼材）</td><td>図面に記載</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>仮枕橋（鋼材）</td><td>本特記仕様書2 9－2 0による</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>仮設目隠板（鋼材）</td><td>図面に記載</td><td>札幌市</td></tr></table> <p>3 1－8 ICT土工を活用した工事に対する取扱いについて</p> <p>本工事は、国土交通省が推進する i-Construction に基づき、生産性向上を図るため、受注者から ICT 土工に関する施工の提案ができる工事である。</p> <p>受注者は、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合にその施工を行うことができるものとする。</p> <p>なお、その施工に伴う費用については、発注者と受注者で協議して定めるものとする。</p>	資材名	規格	調達地域等	切込砂利・切込砕石	4 0－0 mm 8 0－0 mm	空知郡南富良野町	切込砂利・切込砕石	4 0－0 mm 8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品	空知郡南富良野町	骨材	コンクリート用細砂	空知郡南富良野町	骨材	コンクリート用砕石	空知郡南富良野町	骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町	骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町	仮設材（鋼材）	普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型	札幌市	避難連絡坑防護工（鋼材）	図面に記載	札幌市	仮枕橋（鋼材）	本特記仕様書2 9－2 0による	札幌市	仮設目隠板（鋼材）	図面に記載	札幌市
		資材名	規格	調達地域等																															
切込砂利・切込砕石	4 0－0 mm 8 0－0 mm	空知郡南富良野町																																	
切込砂利・切込砕石	4 0－0 mm 8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品	空知郡南富良野町																																	
骨材	コンクリート用細砂	空知郡南富良野町																																	
骨材	コンクリート用砕石	空知郡南富良野町																																	
骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町																																	
骨材	吹付けコンクリート用砕石	空知郡南富良野町																																	
仮設材（鋼材）	普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型	札幌市																																	
避難連絡坑防護工（鋼材）	図面に記載	札幌市																																	
仮枕橋（鋼材）	本特記仕様書2 9－2 0による	札幌市																																	
仮設目隠板（鋼材）	図面に記載	札幌市																																	
正		<table><tr><td>切込砕石</td><td>8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品</td><td>空知郡南富良野町 空知郡占冠村</td></tr><tr><td>骨材</td><td>コンクリート用細砂</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>吹付けコンクリート用細砂</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>骨材</td><td>吹付けコンクリート用砕石（15-5mm）</td><td>空知郡南富良野町</td></tr><tr><td>仮設材（鋼材）</td><td>普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>避難連絡坑防護工（鋼材）</td><td>図面に記載</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>仮枕橋（鋼材）</td><td>本特記仕様書2 9－2 0による</td><td>札幌市</td></tr><tr><td>仮設目隠板（鋼材）</td><td>図面に記載</td><td>札幌市</td></tr></table> <p>3 1－8 ICT土工を活用した工事に対する取扱いについて</p> <p>本工事は、国土交通省が推進する i-Construction に基づき、生産性向上を図るため、受注者から ICT 土工に関する施工の提案ができる工事である。</p> <p>受注者は、契約後、施工計画書の提出までに発注者へ提案・協議を行い、協議が整った場合にその施工を行うことができるものとする。</p> <p>なお、その施工に伴う費用については、発注者と受注者で協議して定めるものとする。</p> <p>3 1－9 設計変更ガイドライン</p> <p>工事の変更等においては、東日本高速道路㈱が制定・公表している「土木工事請負契約における設計変更ガイドライン」（当社ホームページに掲載 https://www.e-nexco.co.jp/news/bids/2019/0701/00003390.html）を参照のこと。</p> <p>3 1－1 0 保険の付保</p> <p>保険の付保については、「共通仕様書1－5 5－1 保険の付保」によらず、次のとおりとする。</p> <p>契約書第5 7 条に規定する火災保険、建設工事保険、その他の保険（賠償責任保険は除く）の付保は任意とし、賠償責任保険（支払限度額1 億円以上）は付保しなければならない。</p> <p>3 1－1 1 実績価格調査票</p> <p>受注者は、契約締結後、見積活用方式に係る見積対象項目に対し下請契約したとき、または、現場組織が構築されたときは、本工事の入札前に提出した最終参考見積書と契約後の実態に基づく比較を行う「実績価格調査票（別添- 3）」を作成し提出するものとする。なお、監督員は、提出された実績価格調査票に疑義がある場合は、施工体制点検などの場を活用して受注者や下請負人に聞き取り調査を行うものとする。</p>	切込砕石	8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品	空知郡南富良野町 空知郡占冠村	骨材	コンクリート用細砂	空知郡南富良野町	骨材	吹付けコンクリート用細砂	空知郡南富良野町	骨材	吹付けコンクリート用砕石（15-5mm）	空知郡南富良野町	仮設材（鋼材）	普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型	札幌市	避難連絡坑防護工（鋼材）	図面に記載	札幌市	仮枕橋（鋼材）	本特記仕様書2 9－2 0による	札幌市	仮設目隠板（鋼材）	図面に記載	札幌市									
切込砕石	8 0－0 mm NEXCO試験法112及び JGS0172-2009適合品	空知郡南富良野町 空知郡占冠村																																	
骨材	コンクリート用細砂	空知郡南富良野町																																	
骨材	吹付けコンクリート用細砂	空知郡南富良野町																																	
骨材	吹付けコンクリート用砕石（15-5mm）	空知郡南富良野町																																	
仮設材（鋼材）	普通鋼矢板Ⅲ型及びⅣ型	札幌市																																	
避難連絡坑防護工（鋼材）	図面に記載	札幌市																																	
仮枕橋（鋼材）	本特記仕様書2 9－2 0による	札幌市																																	
仮設目隠板（鋼材）	図面に記載	札幌市																																	

74

75

正誤表(14)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分			
誤	割掛対象表 参考内訳書 1 / 8	割掛対象表参考内訳書 1 / 8			
		【 共 通 仮 設 費 】			
割掛対象表の項目名称		工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	
工 事 用 機 械 運 搬 費 (ト ン ネ ル)		トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ホイールダ (トラクショバ) サイドダンプ 3.0m級: 24t-1台-1往復 ダンプトラック25t積み: 20t-8台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (土 工)		土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	リッパブルドーザ32t: 1台-1往復 ブルドーザ32t: 4台-1往復 湿地ブルドーザ20t: 5台-1往復 バックホウ1.0m級: 3台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (構 造 物 掘 削)		構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	ブルドーザ21t: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (自 工 区 外 盛 土 場)		自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	湿地ブルドーザ20t: 2台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】 【現場内移動】 湿地ブルドーザ20t: 1台-1回	-	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (ト ン ネ ル)		トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3ブームホイールジャンボ170kg級: 1台-1往復 コンクリート吹付け機20m級: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (地 盤 改 良)	中層混合処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ0.8m級 (ベスマシン): 1台-1往復 バックホウ1.4m級 (ベスマシン): 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-		
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラークレーン200t級: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-		
正	割掛対象表 参考内訳書 1 / 8	割掛対象表参考内訳書 1 / 8			
		【 共 通 仮 設 費 】			
		割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
		工 事 用 機 械 運 搬 費 (ト ン ネ ル)	トンネル工で使用する質量20t以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	ホイールダ (トラクショバ) サイドダンプ 3.0m級: 24t-1台-1往復 ダンプトラック25t積み: 20t-8台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-
		工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (土 工)	土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	リッパブルドーザ32t: 1台-1往復 ブルドーザ32t: 4台-1往復 湿地ブルドーザ20t: 5台-1往復 バックホウ1.0m級: 3台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-
		工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (構 造 物 掘 削)	構造物掘削工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	ブルドーザ21t: 1台-1往復 クローラークレーン50t級: 1台-2往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】 湿地ブルドーザ20t: 2台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】 【現場内移動】 湿地ブルドーザ20t: 1台-1回	-
		工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (自 工 区 外 盛 土 場)	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	3ブームホイールジャンボ170kg級: 1台-1往復 2ブームホイールジャンボ150kg級: 1台-3往復 コンクリート吹付け機20m級エクスター付き: 1台-1往復 コンクリート吹付け機20m級: 1台-3往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-
		工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 (地 盤 改 良)	中層混合処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	バックホウ0.8m級 (ベスマシン): 1台-1往復 バックホウ1.4m級 (ベスマシン): 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-

正誤表(15)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																															
誤	割掛対象表 参考内訳書 2 / 8	割掛対象表参考内訳書 2 / 8																																															
		<table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)</td><td>構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)</td><td>トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)</td><td>工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>・工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>電 力 基 本 料 金 費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社</td><td>-</td></tr><tr><td>土 質 等 試 験 費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。</td><td>試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回</td><td>-</td></tr><tr><td>地 質 調 査 等 費</td><td>平板載荷試験に要する費用をいう。</td><td>・ 終点側坑門工: 1箇所 ・ 函渠工: 1箇所</td><td>-</td></tr><tr><td>ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費</td><td>トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>監 督 員 詰 所 費</td><td>監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月</td><td>-</td></tr><tr><td>火 薬 庫 費</td><td>火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m</td><td>-</td></tr><tr><td>非 破 壊 検 査 試 験 費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>終点側 坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所</td><td>-</td></tr></table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)	構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)	トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	・工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社	-	土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-	地 質 調 査 等 費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・ 終点側坑門工: 1箇所 ・ 函渠工: 1箇所	-	ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月	-	火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-	非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	終点側 坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)	構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)	トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	・工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社	-																																														
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-																																														
地 質 調 査 等 費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・ 終点側坑門工: 1箇所 ・ 函渠工: 1箇所	-																																														
ロ ッ ク ボ ル ト 長 さ 検 査 費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月	-																																														
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
ト ン ネ ル 呼 吸 用 防 護 具 費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-																																														
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	終点側 坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所	-																																														
正	割掛対象表 参考内訳書 2 / 8	割掛対象表参考内訳書 2 / 8																																															
		<table><tr><td>工事用機械分解組立費 (仮 栈 橋)</td><td>工事用仮栈橋工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>クローラークレーン200t級: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)</td><td>構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ・鋼矢板Ⅲ型 12.5m×14枚: 10.5t ・鋼矢板Ⅳ型 12.5m×5枚: 4.8t 11.0m×28枚: 23.4t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】</td><td>○</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)</td><td>トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 4.2t ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)</td><td>工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。</td><td>工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ・上部工覆工板: 143.2t ・上部工仮設材: 118.8t ・上部工ボルトナット: 3.2t ・下部工H-400×400×13×21: 17.2t ・下部工H-700×300×13×24: 12.0t ・下部工雑材料: 9.2t ・下部工鋼矢板Ⅲ型: 11.5t ・下部工ボルトナット: 1.9t ・下部工打込み材H-400×400×13×21: 114.9t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】</td><td>○</td></tr><tr><td>電 力 基 本 料 金 費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>トンネル高圧B 総電力使用量: 3,818,774kWh 北海道電力株式会社</td><td>-</td></tr></table>	工事用機械分解組立費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラークレーン200t級: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	-	仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)	構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ・鋼矢板Ⅲ型 12.5m×14枚: 10.5t ・鋼矢板Ⅳ型 12.5m×5枚: 4.8t 11.0m×28枚: 23.4t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	○	仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)	トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 4.2t ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-	仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ・上部工覆工板: 143.2t ・上部工仮設材: 118.8t ・上部工ボルトナット: 3.2t ・下部工H-400×400×13×21: 17.2t ・下部工H-700×300×13×24: 12.0t ・下部工雑材料: 9.2t ・下部工鋼矢板Ⅲ型: 11.5t ・下部工ボルトナット: 1.9t ・下部工打込み材H-400×400×13×21: 114.9t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	○	電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,818,774kWh 北海道電力株式会社	-																											
工事用機械分解組立費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	クローラークレーン200t級: 1台-1往復 ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	-																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (構 造 物 掘 削)	構造物掘削工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ・鋼矢板Ⅲ型 12.5m×14枚: 10.5t ・鋼矢板Ⅳ型 12.5m×5枚: 4.8t 11.0m×28枚: 23.4t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	○																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (ト ン ネ ル)	トンネル工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ・H150×H150 0.9t ・副資材 4.2t ○基地からの運搬【運搬距離: 171km (片道)】	-																																														
仮 設 材 等 運 搬 費 (仮 栈 橋)	工事用仮栈橋工で使用する仮設材 (H型钢、鋼矢板、覆工板等) の運搬に要する費用をいう。	工事用仮栈橋工で使用する仮設材の運搬費 ・上部工覆工板: 143.2t ・上部工仮設材: 118.8t ・上部工ボルトナット: 3.2t ・下部工H-400×400×13×21: 17.2t ・下部工H-700×300×13×24: 12.0t ・下部工雑材料: 9.2t ・下部工鋼矢板Ⅲ型: 11.5t ・下部工ボルトナット: 1.9t ・下部工打込み材H-400×400×13×21: 114.9t ○基地からの運搬【運搬距離: 163km (片道)】	○																																														
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,818,774kWh 北海道電力株式会社	-																																														

正誤表(16)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																															
	誤	割掛対象表参考内訳書 2 / 8																																															
		<table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>仮設材等運搬費 (構造物掘削)</td><td>構造物掘削工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。</td><td>構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 (トンネル)</td><td>トンネル工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。</td><td>・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>仮設材等運搬費 (仮設橋)</td><td>工事前仮設橋工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。</td><td>・工事前仮設橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】</td><td>-</td></tr><tr><td>電力基本料金費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社</td><td>-</td></tr><tr><td>土質等試験費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。</td><td>試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回</td><td>-</td></tr><tr><td>地質調査等費</td><td>平板載荷試験に要する費用をいう。</td><td>・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所</td><td>-</td></tr><tr><td>ロックボルト長さ 検査費</td><td>トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>監督員詰所費</td><td>監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。</td><td>建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月</td><td>-</td></tr><tr><td>火薬庫費</td><td>火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>トンネル呼吸用 防護具費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m</td><td>-</td></tr><tr><td>非破壊検査試験費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所</td><td>-</td></tr></table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	仮設材等運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	仮設材等運搬費 (仮設橋)	工事前仮設橋工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	・工事前仮設橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-	電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社	-	土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-	地質調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所	-	ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	監督員詰所費	監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月	-	火薬庫費	火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	トンネル呼吸用 防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-	非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																														
仮設材等運搬費 (構造物掘削)	構造物掘削工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	構造物掘削 特殊部A (C-Bx) で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
仮設材等運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	・避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
仮設材等運搬費 (仮設橋)	工事前仮設橋工で使用する仮設材(H型鋼、鋼矢板、覆工板等)の運搬に要する費用をいう。	・工事前仮設橋工で使用する仮設材の運搬費 ○基地からの運搬【運搬距離: 170km (片道)】	-																																														
電力基本料金費	電力等の基本料に要する費用をいう。	トンネル高圧B 総電力使用量: 3,877,344kWh 北海道電力株式会社	-																																														
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-																																														
地質調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所	-																																														
ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
監督員詰所費	監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 85.7ヶ月	-																																														
火薬庫費	火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
トンネル呼吸用 防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-																																														
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所	-																																														
割掛対象表 参考内訳書 2 / 8																																																	
	正	割掛対象表参考内訳書 3 / 8																																															
		<table><tr><td>土質等試験費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。</td><td>試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回</td><td>-</td></tr><tr><td>地質調査等費</td><td>平板載荷試験に要する費用をいう。</td><td>・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所</td><td>-</td></tr><tr><td>ロックボルト長さ 検査費</td><td>トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>監督員詰所費</td><td>監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。</td><td>建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 60ヶ月</td><td>-</td></tr><tr><td>火薬庫費</td><td>火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>-</td></tr><tr><td>トンネル呼吸用 防護具費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m</td><td>-</td></tr><tr><td>非破壊検査試験費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所</td><td>-</td></tr><tr><td>基準試験費</td><td>中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。</td><td>コンクリートT1-4: 1回 コンクリートT3-4: 1回</td><td>-</td></tr><tr><td>配合試験費</td><td>地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門工: 1回 L型擁壁付近: 2回</td><td>-</td></tr></table>	土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-	地質調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所	-	ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	監督員詰所費	監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 60ヶ月	-	火薬庫費	火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-	トンネル呼吸用 防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-	非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所	-	基準試験費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT1-4: 1回 コンクリートT3-4: 1回	-	配合試験費	地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工: 1回 L型擁壁付近: 2回	-											
土質等試験費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	試験項目: 「JGS0172-2009 凍土性判定のための土の凍土試験方法」 試験回数: 1回	-																																														
地質調査等費	平板載荷試験に要する費用をいう。	・終点側坑門工: 1箇所 ・函渠工: 1箇所	-																																														
ロックボルト長さ 検査費	トンネルロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器共用日数: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
監督員詰所費	監督員詰所の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	建物面積: 9.9㎡程度 工事期間: 60ヶ月	-																																														
火薬庫費	火薬庫の営繕(設置・撤去、維持・補修)に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-																																														
トンネル呼吸用 防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具: 1式 トンネル延長: 2,351m	-																																														
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 終点側坑門 上向: 2箇所、側面: 4箇所 C-Bx 上向: 2箇所、側面: 4箇所	-																																														
基準試験費	中流動コンクリートの配合決定を行うための基準試験に要する費用をいう。	コンクリートT1-4: 1回 コンクリートT3-4: 1回	-																																														
配合試験費	地盤改良を行うにあたり、固化材の添加量を決定するための室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工: 1回 L型擁壁付近: 2回	-																																														
【準備工事費】																																																	
		<table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>工事前道路維持補修費</td><td>工事前道路の維持補修(散水)に要する費用をいう。</td><td>散水車5,500L 期間: 約31.0ヶ月 ・道道136号夕張新得線(砂利路面区間) ・村道(道道136号夕張新得線～村道上トマム団体線)</td><td>-</td></tr></table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工事前道路維持補修費	工事前道路の維持補修(散水)に要する費用をいう。	散水車5,500L 期間: 約31.0ヶ月 ・道道136号夕張新得線(砂利路面区間) ・村道(道道136号夕張新得線～村道上トマム団体線)	-																																							
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																														
工事前道路維持補修費	工事前道路の維持補修(散水)に要する費用をいう。	散水車5,500L 期間: 約31.0ヶ月 ・道道136号夕張新得線(砂利路面区間) ・村道(道道136号夕張新得線～村道上トマム団体線)	-																																														

正誤表(17)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

誤

割掛対象表
参考内訳書
4 / 8

正誤区分

割掛対象表参考内訳書 4 / 8

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
工事車両泥落し装置費	泥落し装置に要する費用をいう。	④【トマムIC Cランプずり置場 出入口】 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 1箇所 設置撤去: 1回 設置期間: 6.0ヶ月 ⑤【落合地区ずり置場 出入口】 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 1箇所 設置撤去: 1回 設置期間: 12.0ヶ月 ⑥【STA.1031+00付近 出入口】 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 1箇所 設置撤去: 1回 設置期間: 6.5ヶ月 ⑦【STA.1033+20付近 出入口】 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 1箇所 設置撤去: 2回 設置期間: 6.5ヶ月/回 (冬期休止期間基地へ返却)	-
坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交替 (9h2方) 保守期間: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘側溝: L=2315m 保守期間: 41.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	-

【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【手すり先行くさび緊結式足場】 ・擁壁工: 2,645.5空㎡ ・共同溝: 91.2空㎡ ・C-Bx: 353.6空㎡ ³	-

正

割掛対象表
参考内訳書
5 / 8

割掛対象表参考内訳書 5 / 8

坑内外仮設備保守費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交替 (9h2方) 保守期間: 39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	-
坑内仮排水設備費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘側溝: L=2,314.4m 設置期間: 41.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) 強制排水設備 工事用排水ポンプ (切羽用) φ50mm×2台 設置期間: 41.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) 工事用排水ポンプ (強制排水用) φ80mm×2台、送水管延長537m 設置期間: 1台運転8.9ヶ月、2台運転10.2ヶ月	-

【仮設備工事費】

割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【手すり先行くさび緊結式足場】 ・擁壁工: 2,035.1空㎡ ・共同溝: 91.2空㎡ ・C-Bx: 353.6空㎡	-
足場工費 (非常駐車帯妻部)	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【非常駐車帯の妻部に使用する足場】 ・156.8空㎡ (52.272空㎡/箇所×3箇所)	-
支保工費	コンクリート構造物の施工時、所定の形状に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。	【くさび結合支保工】 ・共同溝: 載荷荷重1.3t/㎡ 25.0空㎡ ・C-Bx: 載荷荷重1.5t/㎡ 367.7空㎡	-
ダンプトラック運搬費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	25tダンプ延運転月数: 202.8ヶ月 運転労務 (補助) 延運転月数: 60.3ヶ月	-
吹付設備費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体1式-設備期間: 39.9ヶ月 ※基礎コンクリートの処分費を含む	-

正誤表(18)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																												
	誤	割掛対象表参考内訳書 5 / 8																																												
		<table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>足 場 工 費 (非常駐車帯妻部)</td><td>トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【非常駐車帯の妻部に使用する足場】 ・ 1 5 6 . 8 空㎡ (5 2 . 2 7 2 空㎡/箇所× 3 箇所) 【くさび結合支保工】 ・ 共 同 溝：載荷荷重 1 . 3 t /㎡ 2 5 . 0 空㎡ ・ C - B x：載荷荷重 1 . 5 t /㎡ 3 6 7 . 7 空㎡</td><td>－</td></tr><tr><td>支 保 工 費</td><td>コンクリート構造物の施工時、所定の形状に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。</td><td></td><td>－</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転費</td><td>ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。</td><td>2 5 t ダンプ延運転月数：1 8 7 . 5 ヶ月 運転労務 (補助) 延運転月数：1 3 4 . 4 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>吹 付 設 備 費</td><td>トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。</td><td>吹付プラント設備組立解体 1 式 - 設備期間：3 9 . 9 ヶ月 ※基礎コンクリートの処分費を含む</td><td>－</td></tr><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)</td><td>－</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m</td><td>－</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m</td><td>－</td></tr></table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	足 場 工 費 (非常駐車帯妻部)	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【非常駐車帯の妻部に使用する足場】 ・ 1 5 6 . 8 空㎡ (5 2 . 2 7 2 空㎡/箇所× 3 箇所) 【くさび結合支保工】 ・ 共 同 溝：載荷荷重 1 . 3 t /㎡ 2 5 . 0 空㎡ ・ C - B x：載荷荷重 1 . 5 t /㎡ 3 6 7 . 7 空㎡	－	支 保 工 費	コンクリート構造物の施工時、所定の形状に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。		－	ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	2 5 t ダンプ延運転月数：1 8 7 . 5 ヶ月 運転労務 (補助) 延運転月数：1 3 4 . 4 ヶ月	－	吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体 1 式 - 設備期間：3 9 . 9 ヶ月 ※基礎コンクリートの処分費を含む	－	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月	－	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月	－	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	－	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m	－	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月	－	足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m	－
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																											
足 場 工 費 (非常駐車帯妻部)	トンネル非常駐車帯妻部の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【非常駐車帯の妻部に使用する足場】 ・ 1 5 6 . 8 空㎡ (5 2 . 2 7 2 空㎡/箇所× 3 箇所) 【くさび結合支保工】 ・ 共 同 溝：載荷荷重 1 . 3 t /㎡ 2 5 . 0 空㎡ ・ C - B x：載荷荷重 1 . 5 t /㎡ 3 6 7 . 7 空㎡	－																																											
支 保 工 費	コンクリート構造物の施工時、所定の形状に仕上げるための仮設の支保構造物に要する費用をいう。		－																																											
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	2 5 t ダンプ延運転月数：1 8 7 . 5 ヶ月 運転労務 (補助) 延運転月数：1 3 4 . 4 ヶ月	－																																											
吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立解体 1 式 - 設備期間：3 9 . 9 ヶ月 ※基礎コンクリートの処分費を含む	－																																											
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月	－																																											
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月	－																																											
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	－																																											
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m	－																																											
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月	－																																											
足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m	－																																											
割掛対象表 参考内訳書 5 / 8	正	割掛対象表参考内訳書 6 / 8																																												
		<table><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) 取水設備：水中ポンプφ 8 0 mm、送水管延長約 2 1 0 m 取水設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)</td><td>－</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m</td><td>－</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m</td><td>－</td></tr><tr><td>吹 付 プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費</td><td>トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。</td><td>設定温度 5℃、気積 約 1 , 0 8 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度 5℃、気積 約 5 4 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月</td><td>－</td></tr></table> <table><tr><th colspan="4">【雑工事費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>切 土 部 施 工 基 面 の 整 形 費</td><td>共通仕様書 2 - 6 - 5 (6 の規定を満足するよう、上部路面面の不陸整正に要する費用をいう。</td><td>切土部施工基面の整形 (土砂)：1 1 , 7 5 3 . 3 ㎡</td><td>－</td></tr></table>	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月	－	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月	－	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) 取水設備：水中ポンプφ 8 0 mm、送水管延長約 2 1 0 m 取水設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	－	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m	－	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月	－	足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m	－	吹 付 プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 1 , 0 8 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月	－	汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 5 4 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月	－	【雑工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	切 土 部 施 工 基 面 の 整 形 費	共通仕様書 2 - 6 - 5 (6 の規定を満足するよう、上部路面面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形 (土砂)：1 1 , 7 5 3 . 3 ㎡	－
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：3 9 . 9 ヶ月 (掘削開始～掘削完了) 覆工作业単独の施工期間：2 . 0 ヶ月	－																																											
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3 , 0 0 0 ㎡/min (1 6 0 kw × 2) 設置撤去 3 9 . 1 ヶ月 電気式集じん機 2 , 7 0 0 ㎡/min (6 1 kw) 設置撤去 3 1 . 7 ヶ月	－																																											
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約 2 , 3 3 3 m、坑外配管延長 約 2 5 m 設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) 取水設備：水中ポンプφ 8 0 mm、送水管延長約 2 1 0 m 取水設備期間：4 1 . 9 ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	－																																											
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル片押し延長：約 2 , 3 1 5 m 責任分界点から坑口までの距離：約 3 , 8 0 0 m	－																																											
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約 3 . 1 万 kw 電力使用期間：4 3 . 8 ヶ月	－																																											
足場費 (覆工防水工・補強鉄筋用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約 2 , 3 1 4 . 4 m	－																																											
吹 付 プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 1 , 0 8 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月	－																																											
汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気積 約 5 4 0 ㎡、養生期間：2 2 . 0 ヶ月	－																																											
【雑工事費】																																														
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																											
切 土 部 施 工 基 面 の 整 形 費	共通仕様書 2 - 6 - 5 (6 の規定を満足するよう、上部路面面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形 (土砂)：1 1 , 7 5 3 . 3 ㎡	－																																											

正誤表(19)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																														
誤	割掛対象表 参考内訳書 6 / 8	割掛対象表参考内訳書 6 / 8																														
		<table><tr><td>吹付プラント 冬季養生費</td><td>トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約324㎡、養生期間：19.0ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>汚濁水処理設備 冬季養生費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約270㎡、養生期間：19.0ヶ月</td><td>－</td></tr></table>	吹付プラント 冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約324㎡、養生期間：19.0ヶ月	－	汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約270㎡、養生期間：19.0ヶ月	－																						
吹付プラント 冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約324㎡、養生期間：19.0ヶ月	－																													
汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約270㎡、養生期間：19.0ヶ月	－																													
正	割掛対象表 参考内訳書 6 / 8	割掛対象表参考内訳書 6 / 8																														
		<table><tr><td>積卸し設備費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>トンネル掘削の施工期間：39.9ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆工作业単独の施工期間：2.0ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>換気設備費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機3,000㎡/min（160kw×2） 設置撤去 39.1ヶ月 電気式集じん機2,700㎡/min（61kw） 設置撤去 31.7ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>給水設備費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要給水設備に要する費用をいう。</td><td>坑内配管延長：約2,333m、坑外配管延長 約25m 設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで） 取水設備：水中ポンプφ80mm、送水管延長約210m 取水設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで）</td><td>－</td></tr><tr><td>工事用電力設備費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>トンネル押し延長：約2,315m 責任分界点から坑口までの距離：約3,800m</td><td>－</td></tr><tr><td>工事用電力費</td><td>トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：約3.1万kw 電力使用期間：43.8ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車の使用延長：約2,314.4m</td><td>－</td></tr><tr><td>吹付プラント 冬季養生費</td><td>トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約1,080㎡、養生期間：22.0ヶ月</td><td>－</td></tr><tr><td>汚濁水処理設備 冬季養生費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積 約540㎡、養生期間：22.0ヶ月</td><td>－</td></tr></table>	積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：39.9ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆工作业単独の施工期間：2.0ヶ月	－	換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機3,000㎡/min（160kw×2） 設置撤去 39.1ヶ月 電気式集じん機2,700㎡/min（61kw） 設置撤去 31.7ヶ月	－	給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約2,333m、坑外配管延長 約25m 設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで） 取水設備：水中ポンプφ80mm、送水管延長約210m 取水設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで）	－	工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル押し延長：約2,315m 責任分界点から坑口までの距離：約3,800m	－	工事用電力費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約3.1万kw 電力使用期間：43.8ヶ月	－	足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約2,314.4m	－	吹付プラント 冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約1,080㎡、養生期間：22.0ヶ月	－	汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。
積卸し設備費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	トンネル掘削の施工期間：39.9ヶ月（掘削開始～掘削完了） 覆工作业単独の施工期間：2.0ヶ月	－																													
換気設備費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機3,000㎡/min（160kw×2） 設置撤去 39.1ヶ月 電気式集じん機2,700㎡/min（61kw） 設置撤去 31.7ヶ月	－																													
給水設備費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要給水設備に要する費用をいう。	坑内配管延長：約2,333m、坑外配管延長 約25m 設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで） 取水設備：水中ポンプφ80mm、送水管延長約210m 取水設備期間：41.9ヶ月（掘削開始～覆工完了まで）	－																													
工事用電力設備費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	トンネル押し延長：約2,315m 責任分界点から坑口までの距離：約3,800m	－																													
工事用電力費	トンネル坑内・外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：約3.1万kw 電力使用期間：43.8ヶ月	－																													
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車の使用延長：約2,314.4m	－																													
吹付プラント 冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約1,080㎡、養生期間：22.0ヶ月	－																													
汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度5℃、 気積 約540㎡、養生期間：22.0ヶ月	－																													
		【雑工事費】																														
		<table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>切土部施工基面の整形費</td><td>共通仕様書2-6-5（6の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。</td><td>切土部施工基面の整形（土砂）：11,753.3㎡</td><td>－</td></tr></table>	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	切土部施工基面の整形費	共通仕様書2-6-5（6の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形（土砂）：11,753.3㎡	－																						
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																													
切土部施工基面の整形費	共通仕様書2-6-5（6の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形（土砂）：11,753.3㎡	－																													

正誤表(20)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																									
割掛対象表 参考内訳書 8 / 8	誤	<div>割掛対象表参考内訳書 8 / 8</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)</td><td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td><td>設置延長：L＝997.3m</td><td>○</td></tr><tr><td>避 難 連 絡 坑 補 強 費</td><td>避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。</td><td>鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：2.4本 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費</td><td>－</td></tr><tr><td>防 音 壁 費</td><td>爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。</td><td>防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m</td><td>○</td></tr></table>		割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L＝997.3m	○	避 難 連 絡 坑 補 強 費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。	鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：2.4本 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費	－	防 音 壁 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。	防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m	○								
	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																							
土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L＝997.3m	○																								
避 難 連 絡 坑 補 強 費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。	鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：2.4本 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費	－																								
防 音 壁 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。	防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m	○																								
	正	<div>割掛対象表参考内訳書 8 / 8</div> <table><tr><td>坑 口 切 付 費</td><td>トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。</td><td>【終点側坑門工】 ・土のう (62cm×48cm)：4,037袋 ・外型枠 (キーストプレート (黒皮品) 650×25×1.2)：46.6㎡ ・コンクリート吹付 (t＝10cm)：約449.2㎡ ・コンクリート吹付 (t＝25cm)：約45.3㎡ ・継ぎ材 (等辺山形鋼 (50×50×6))：約435.0kg ・やらず (H＝200×200 L＝6.5m)：2本</td><td></td></tr><tr><td>防 音 扉 費</td><td>爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。</td><td>防音扉設置撤去：1基 (約76.3㎡) ※基礎コンクリートの処分費を含む</td><td>○</td></tr><tr><td>仮 囲 い 費</td><td>工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲いに要する費用をいう。</td><td>高さ：H＝3.0m 設置延長：A1タイプ－L＝148.0m ：B1タイプ－L＝457.0m</td><td>○</td></tr><tr><td>土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)</td><td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td><td>設置延長：L＝997.3m</td><td>○</td></tr><tr><td>避 難 連 絡 坑 補 強 費</td><td>避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。</td><td>鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：1.0本 (L＝4.0m) 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費</td><td>－</td></tr><tr><td>防 音 壁 費</td><td>爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。</td><td>防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m 設置期間：39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)</td><td>○</td></tr></table>		坑 口 切 付 費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	【終点側坑門工】 ・土のう (62cm×48cm)：4,037袋 ・外型枠 (キーストプレート (黒皮品) 650×25×1.2)：46.6㎡ ・コンクリート吹付 (t＝10cm)：約449.2㎡ ・コンクリート吹付 (t＝25cm)：約45.3㎡ ・継ぎ材 (等辺山形鋼 (50×50×6))：約435.0kg ・やらず (H＝200×200 L＝6.5m)：2本		防 音 扉 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。	防音扉設置撤去：1基 (約76.3㎡) ※基礎コンクリートの処分費を含む	○	仮 囲 い 費	工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲いに要する費用をいう。	高さ：H＝3.0m 設置延長：A1タイプ－L＝148.0m ：B1タイプ－L＝457.0m	○	土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L＝997.3m	○	避 難 連 絡 坑 補 強 費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。	鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：1.0本 (L＝4.0m) 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費	－	防 音 壁 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。	防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m 設置期間：39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	○
坑 口 切 付 費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	【終点側坑門工】 ・土のう (62cm×48cm)：4,037袋 ・外型枠 (キーストプレート (黒皮品) 650×25×1.2)：46.6㎡ ・コンクリート吹付 (t＝10cm)：約449.2㎡ ・コンクリート吹付 (t＝25cm)：約45.3㎡ ・継ぎ材 (等辺山形鋼 (50×50×6))：約435.0kg ・やらず (H＝200×200 L＝6.5m)：2本																									
防 音 扉 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する扉に要する費用をいう。	防音扉設置撤去：1基 (約76.3㎡) ※基礎コンクリートの処分費を含む	○																								
仮 囲 い 費	工事箇所と高速道路本線との境に設置する仮囲いに要する費用をいう。	高さ：H＝3.0m 設置延長：A1タイプ－L＝148.0m ：B1タイプ－L＝457.0m	○																								
土 砂 等 防 止 柵 費 (盛 土 の り 面 用)	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：L＝997.3m	○																								
避 難 連 絡 坑 補 強 費	避難連絡坑の施工に伴って行う、既設本坑の鋼アーチ支保工、底板プレート及びロックボルトの撤去並びに補強プレート、補強ロックボルト及び補強アンカー等の設置に要する費用をいう。	鋼アーチ支保工撤去：0.4 t ロックボルト撤去：28本 補強材設置：0.4 t 補強ロックボルト打設：1.0本 (L＝4.0m) 接続アンカー設置：111本 既設覆工の撤去費	－																								
防 音 壁 費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する壁に要する費用をいう。	防音壁：H＝3.0m 設置延長：L＝234.5m 設置期間：39.9ヶ月 (掘削開始～掘削完了)	○																								

正誤表(21)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

[illegible]

正誤表(22)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

誤

正

割掛対象表8頁

変動・固定の区分 割掛項目	監督員詰所費	火薬庫費	トンネル呼吸用防護具費	非破壊検査試験費	基準試験費	配合試験費	②準備工事費	工事に道路維持補修費	工事車両泥落とし装置費	坑内外仮設備保守費	坑内仮排水設備費	③仮設備工事費	足場工費	足場工費（非常駐車番室部）	支保工費
	固	固	固	固	固	固		固	固	固	固		固	固	固
コンクリート C2-1(T)															
T1-4					○										
T3-4					○						○				
C															○
T															
T(L) <small>鉄筋</small>														○	
A(T) <small>トンネル掘削</small>															
CⅠ-a-B	○	○	○								○	○			
CⅡ-a-B	○	○	○								○	○			
CⅡ-b-B	○	○	○								○	○			
DⅠ-a-B	○	○	○								○	○			
DⅢa-(1)-B	○	○	○								○	○			
DⅢa-(2)-B	○	○	○								○	○			

(注) 変動・固定の部分・・・“固”は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。

割掛対象表8頁

変動・固定の区分 割掛項目	監督員詰所費	火薬庫費	トンネル呼吸用防護具費	非破壊検査試験費	基準試験費	配合試験費	②準備工事費	工事に道路維持補修費	工事車両泥落とし装置費	坑内外仮設備保守費	坑内仮排水設備費	③仮設備工事費	足場工費	足場工費（非常駐車番室部）	支保工費
	固	固	固	固	固	固		固	固	固	固		固	固	固
コンクリート C2-1(T)															
T1-4					○										
T3-4					○						○				
C															○
T															
T(L) <small>鉄筋</small>														○	
A(T) <small>トンネル掘削</small>															
CⅠ-a-B	○	○	○								○	○			
CⅡ-a-B	○	○	○								○	○			
CⅡ-b-B	○	○	○								○	○			
DⅠ-a-B	○	○	○								○	○			
DⅢa-(1)-B	○	○	○								○	○			
DⅢa-(2)-B	○	○	○								○	○			

(注) 変動・固定の部分・・・“固”は固定先割掛を示し、空白は変動的割掛を示す。

正誤表(23)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
誤		*** 割掛対象表 *** 12頁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		<table><tr><th rowspan="2">変動・固定の区分 割掛項目</th><th>監督員詰所費</th><th>火薬庫費</th><th>トンネル呼吸用防護具費</th><th>非破壊検査試験費</th><th>基準試験費</th><th>配合試験費</th><th>◎準備工事費</th><th>工事用道路維持補修費</th><th>工事車両泥落とし装置費</th><th>坑内外仮設備保守費</th><th>坑内仮排水設備費</th><th>◎仮設備工事費</th><th>足場工費</th><th>足場工費（非常駐を希望部）</th><th>支保工費</th></tr><tr><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th></th><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th>固</th><th></th><th>固</th><th>固</th><th>固</th></tr><tr><td>割掛先契約項目</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>地盤改良工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中層混合処理A</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中層混合処理B</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>注入式長尺鋼管先受工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>打設工A（L＝12、5m）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>長尺鋼管縦補強工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>打設工A（L＝13、5m）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>打設工B（L＝7、5m）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>距離連絡坑防護工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮橋構工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>設置工</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><</tr></table>															変動・固定の区分 割掛項目	監督員詰所費	火薬庫費	トンネル呼吸用防護具費	非破壊検査試験費	基準試験費	配合試験費	◎準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落とし装置費	坑内外仮設備保守費	坑内仮排水設備費	◎仮設備工事費	足場工費	足場工費（非常駐を希望部）	支保工費	固	固	固	固	固	固		固	固	固	固		固	固	固	割掛先契約項目																地盤改良工						○										中層混合処理A																中層混合処理B						○										注入式長尺鋼管先受工																打設工A（L＝12、5m）																長尺鋼管縦補強工																打設工A（L＝13、5m）																打設工B（L＝7、5m）																距離連絡坑防護工																仮橋構工																設置工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		変動・固定の区分 割掛項目	監督員詰所費	火薬庫費	トンネル呼吸用防護具費	非破壊検査試験費	基準試験費	配合試験費	◎準備工事費	工事用道路維持補修費	工事車両泥落とし装置費	坑内外仮設備保守費	坑内仮排水設備費	◎仮設備工事費	足場工費	足場工費（非常駐を希望部）		支保工費																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
			固	固	固	固	固	固		固	固	固	固		固	固	固																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		割掛先契約項目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		地盤改良工						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		中層混合処理A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		中層混合処理B						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		注入式長尺鋼管先受工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		打設工A（L＝12、5m）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
長尺鋼管縦補強工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
打設工A（L＝13、5m）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
打設工B（L＝7、5m）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
距離連絡坑防護工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
仮橋構工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
設置工																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

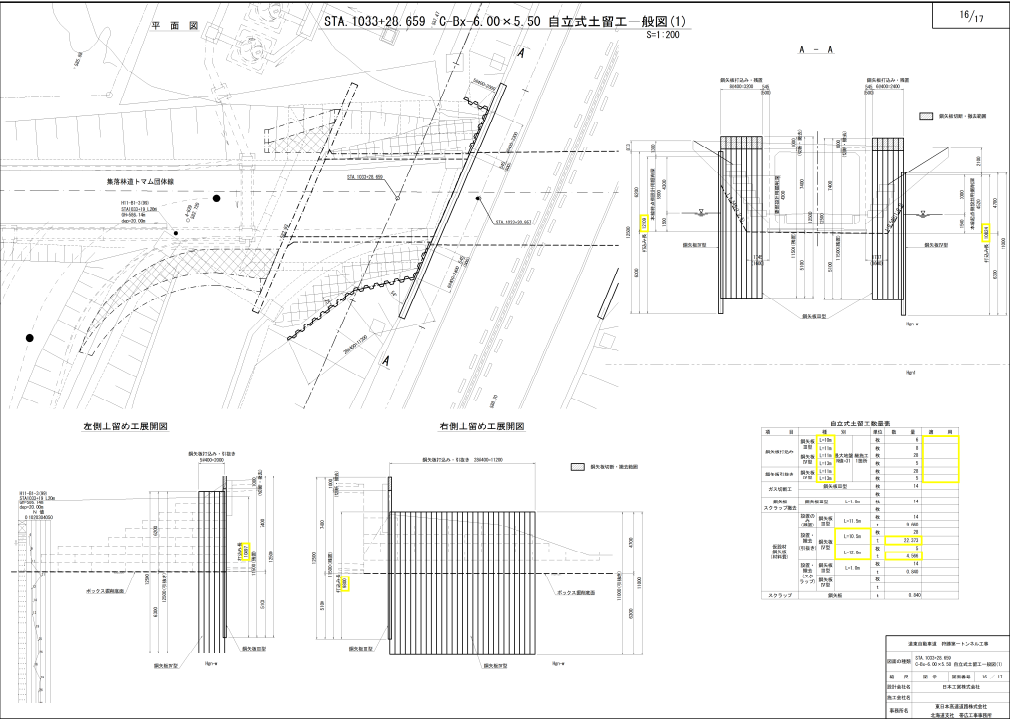
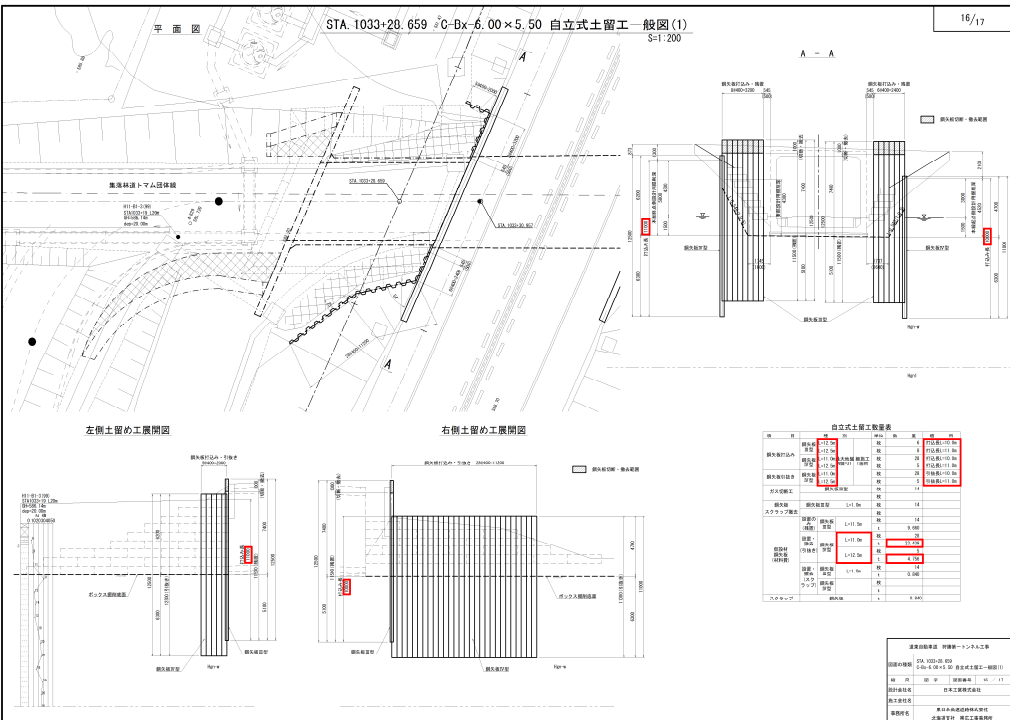
正誤表(24)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

[illegible]

正誤表(25)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所	正誤区分
設計図 函渠工 (16/17)	<p>誤</p> 
設計図 函渠工 (16/17)	<p>正</p> 

正誤表(26)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

非常駐車帯・避難連絡坑一般図(6)
S-1:250

A-A断面

参考図: 覆工取壊し図 S-1:125

参考図: 無発破工法穿孔パターン図
※圧入ピッチを参照する

避難連絡坑補強上断面図 S-1:125
B-B断面

既設非常駐車帯覆上補強上断面図 S-1:125

数量表

品名	単位	数量	単位	数量
連続コアボーリング	φ150mm	m	3.1	
ワイヤーメッシュ	φ54mm	m	14.8	
ワイヤーメッシュ切断	m	15.6		
スリット	φ100mm	m	5.2	
連続アンカー	L=2000	m	37	
補強ロックボルト	L=2000	m	4	

※1 図中の補強坑位置を参考に必要に応じて補強坑位置と材料量との変更が必要。

設計図
トンネル工
(46/131)

正

非常駐車帯・避難連絡坑一般図(6)
S-1:250

A-A断面

参考図: 覆工取壊し図 S-1:125

参考図: 無発破工法穿孔パターン図
※圧入ピッチを参照する

避難連絡坑補強上断面図 S-1:125
B-B断面

既設非常駐車帯覆上補強上断面図 S-1:125

数量表

品名	単位	数量	単位	数量
連続コアボーリング	φ150mm	m	3.1	
ワイヤーメッシュ	φ54mm	m	14.8	
ワイヤーメッシュ切断	m	15.6		
スリット	φ100mm	m	5.2	
連続アンカー	L=2000	m	37	
補強ロックボルト	L=2000	m	4	

※1 図中の補強坑位置を参考に必要に応じて補強坑位置と材料量との変更が必要。

正誤表(27)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

覆 工 防 水 工 図 (3)

91/131

S=1:125

C1-L(H)-B 断面 S=1:125 C2-L(H)-B 断面 S=1:125 C1-B-S, C1-K-S1, C1-K-S2 断面 S=1:50
C2-B-S, C2-K-S1, C2-K-S2 断面
(標準避難連絡坑 断面)

数量表

項 目	形状寸法	単位	数 量	備 考
覆工防水工A部	防水シート (1:0.8mm) (標準防水量 300g/㎡以上)	㎡	24.979	標準避難連絡坑
覆工防水工B部	防水シート (1:0.8mm) (標準防水量 300g/㎡以上)	㎡	10.911	鉄筋無し区間

標準避難連絡坑 別冊「トンネル工事」
 図面番号 覆 工 防 水 工 図 (3)
 図面内容 断面 (標準避難連絡坑)
 図面比例 1/50
 図面枚数 1/1
 図面作成 国土交通省河川局
 図面承認 国土交通省河川局

設計図
トンネル工
(91/131)

正

覆 工 防 水 工 図 (3)

91/131

S=1:125

C1-L(H)-B 断面 S=1:125 C2-L(H)-B 断面 S=1:125 C1-B-S, C1-K-S1, C1-K-S2 断面 S=1:50
C2-B-S, C2-K-S1, C2-K-S2 断面
(標準避難連絡坑 断面)

数量表

項 目	形状寸法	単位	数 量	備 考
覆工防水工A部	防水シート (1:0.8mm) (標準防水量 300g/㎡以上)	㎡	24.979	標準避難連絡坑
覆工防水工B部	防水シート (1:0.8mm) (標準防水量 300g/㎡以上)	㎡	10.911	鉄筋無し区間

標準避難連絡坑 別冊「トンネル工事」
 図面番号 覆 工 防 水 工 図 (3)
 図面内容 断面 (標準避難連絡坑)
 図面比例 1/50
 図面枚数 1/1
 図面作成 国土交通省河川局
 図面承認 国土交通省河川局

正誤表(28)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

[illegible]

正誤表(29)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 雑工・附帯 工 (14/18)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="411 369 1422 1079"> <p>ふとんかご工詳細図</p> <p>ふとんかご工 1.2-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 1.2-0.4-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.2-1.1)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.1-1.0)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.0-0.9)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> </div>
	<p>正</p> <div data-bbox="411 1243 1422 1953"> <p>ふとんかご工詳細図</p> <p>ふとんかご工 1.2-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 1.2-0.4-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.2-1.1)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.1-1.0)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> <p>ふとんかご工 (1.0-0.9)-0.5-2.0-13 単位:mm</p> <p>平面図</p> </div>

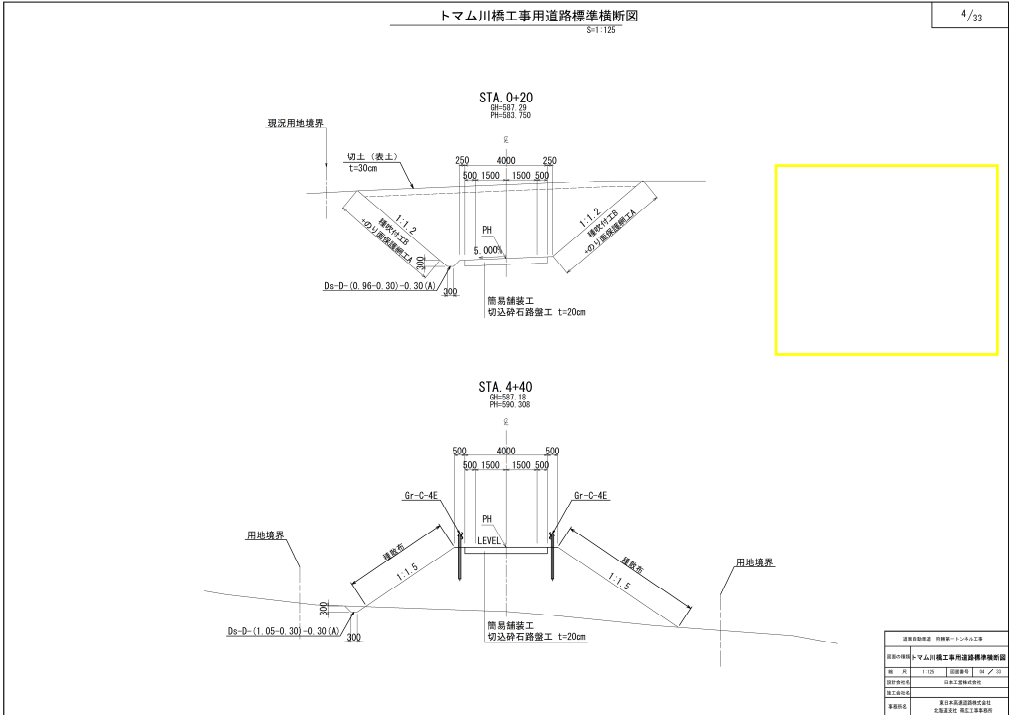
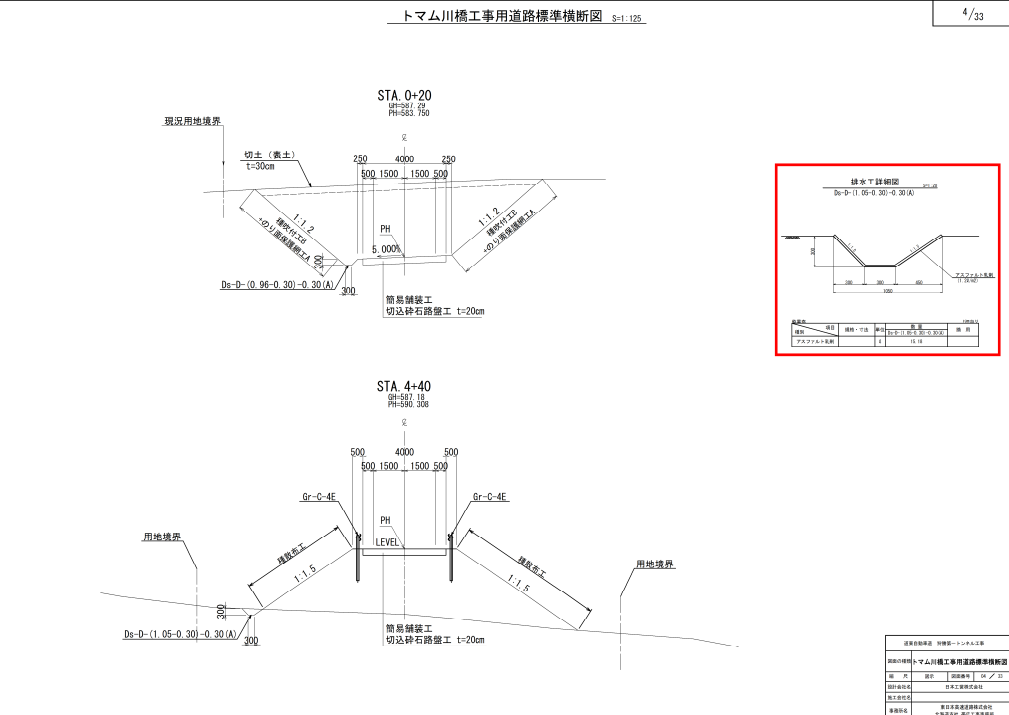
正誤表(30)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所	正誤区分
設計図 雑工・附帯工 (18-1/18)	誤
	正

正誤表(31)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 工事用道路 (4/33)</p>	<p>誤</p> 
	<p>正</p> 

正誤表(32)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

工事用道路A 排水工詳細図

28/33

D₁-D (0.90-0.30)-0.30 (A) S=1.20

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	アスファルト混製	20-25 (1.4% 0.1-0.20%)	m ²	13.74	

D₁-D (0.96-0.30)-0.30 (A) S=1.20

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	アスファルト混製	20-25 (1.4% 0.1-0.20%)	m ²	14.32	

D₁-Pφ0.40-0.80-0.80 S=1.40

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	マンホール蓋	φ400 (S=1.4%)	個	6.40	
種別	マンホール枠	φ400 (S=1.4%)	個	6.40	
種別	マンホール蓋(排水用)	φ400 (S=1.4%)	個	5.14	
種別	マンホール蓋(排水用)	φ400 (S=1.4%)	個	10.00	

図面作成者 図面確認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

設計図
工事用道路
(28/33)

正

工事用道路A 排水工詳細図

28/33

D₁-D (0.90-0.30)-0.30 (A) S=1.20

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	アスファルト混製	20-25 (1.4% 0.1-0.20%)	m ²	13.74	

D₁-D (0.96-0.30)-0.30 (A) S=1.20

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	アスファルト混製	20-25 (1.4% 0.1-0.20%)	m ²	14.32	

D₁-Pφ0.40-0.80-0.80 S=1.40

数量表

項目	規格・寸法	単位	数量	10m当り	備 考
種別	マンホール蓋	φ400 (S=1.4%)	個	6.40	
種別	マンホール枠	φ400 (S=1.4%)	個	6.40	
種別	マンホール蓋(排水用)	φ400 (S=1.4%)	個	5.14	
種別	マンホール蓋(排水用)	φ400 (S=1.4%)	個	10.00	

図面作成者 図面確認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

図面承認者 図面承認者 図面承認者

正誤表(33)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
仮橋工
(1/16)

正

正誤表(34)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
仮棧橋工
(2/16)

正

正誤表(36)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所	正誤区分
誤	<div data-bbox="411 376 1423 1070"> <div data-bbox="418 436 774 1061"> <p>側面図 S=1/400</p> <p>①杭打設・引抜 KA1・KP1橋脚(2橋脚)打設・引抜 KP3橋脚(1橋脚)打設・引抜</p> <p>200 t クローラクレーン</p> <p>平面図 S=1/400</p> <p>①杭打設・引抜</p> </div> <div data-bbox="805 385 1109 1061"> <p>仮橋施工計画図(参考図)</p> <p>200 t クローラクレーン</p> <p>側面図 S=1/400</p> <p>②桁架設・撤去</p> <p>平面図 S=1/400</p> <p>②桁架設・撤去</p> </div> <div data-bbox="1141 385 1417 1061"> <p>200 t クローラクレーン 全長 23.5m 吊钩長さ 22.5m ブーム長さ 30.0m</p> <p>①杭打設・引抜</p> <p>200 t クローラクレーン移動手順図 S=1/400</p> <p>移動</p> <p>レベル架台設置</p> <p>レベル架台へ移動</p> </div> </div>
参考図 (11/37)	正 <div data-bbox="411 1249 1423 1944"> <div data-bbox="418 1310 774 1935"> <p>側面図 S=1/400</p> <p>①杭打設 KA1・KP1橋脚(2橋脚)打設 KP3橋脚(1橋脚)打設</p> <p>200 t クローラクレーン</p> <p>平面図 S=1/400</p> <p>①杭打設</p> </div> <div data-bbox="805 1258 1109 1935"> <p>仮橋施工計画図(参考図)</p> <p>200 t クローラクレーン</p> <p>側面図 S=1/400</p> <p>②桁架設</p> <p>平面図 S=1/400</p> <p>②桁架設</p> </div> <div data-bbox="1141 1258 1417 1935"> <p>200 t クローラクレーン 全長 23.5m 吊钩長さ 22.5m ブーム長さ 30.0m</p> <p>②桁架設</p> <p>200 t クローラクレーン移動手順図 S=1/400</p> <p>移動</p> <p>レベル架台設置</p> <p>レベル架台へ移動</p> </div> </div>

正誤表(37)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

[illegible]

正誤表(38)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分																	
誤	数量明細表																		
	狩勝第一トンネル工事数量明細表																		
	番 号 名称及び地点	番 号	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	
		項目番号	8-(2) 型わく						8-(3) 鉄筋			12-(1) トンネル縦断							
			項 目	C	C (T)	D	T	T (L)	T (S)	A	A (T)	C	CⅠ-a-B	CⅡ-a-B	CⅢ-b-B	DⅠ-a-B	DⅡa-(1)-B	DⅡa-(2)-B	DⅢa-S1-B (本設前)
	単 位	m	m	m	m	m	m	t	t	t	m	m	m	m	m	m	m		
	1	本線 (下り線) (STA.1031+0~STA.1073+0)																	
	2	街路工 (STA.1033+28,659)		493.2		3.0			22,565		0.408								
	3	管渠工 (STA.1068+19,887)																	
	4	管渠工 (STA.1067+94,742)																	
5	管渠工 (STA.1071+75,498)		37.2					0.264											
6	共同溝		91.9		1.6			1,996		0.158									
7	擁壁工 市内橋入1本線 (STA.1070+20,5~STA.1072)		794.3		19.4			35,354		0.677									
8	擁壁工 市内橋入1 巻き込み (STA.1072~STA.1072+82,9)		1,071.1		23.7			81,442		1,683									
9	ブロック舗工 (STA.1033+28,659)																		
10	ブロック舗工 (STA.1038+79,3)		8.3																
11	ブロック舗工 (STA.1070+20,5~STA.1072)		4.6																
12	狩勝第一トンネル (下り線) (STA.1047+6~STA.1066+16)					66,198.6	3,150.1	631.4	401,144		77,253.8	20,730.6	23,710.9	11,175.9	29,533.9	958.2	9,274.6		
13	狩勝第一トンネル (調整連絡坑)																		
14	狩勝第一トンネル坑門工 (起点側)			1,033.7				43,514											
15	狩勝第一トンネル坑門工 (終点側)			926.3				32,628											
16	雪水リターン路																		
17	雪水リターン路 (暫定時)																		
18	トマム川A1管理用通路																		
19	トマム川A2管理用通路																		
20	トマム川橋工事用通路																		
21	工事用通路A																		
22	工事用通路B																		
	合 計		2,506.6	1,960.0	47.7	66,198.6	3,150.1	631.4	217,763	401,144	2,926	77,253.8	20,730.6	23,710.9	11,175.9	29,533.9	958.2	9,274.6	

数量明細表

正	数量明細表																		
	狩勝第一トンネル工事数量明細表																		
	番 号 名称及び地点	番 号	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	
		項目番号	8-(2) 型わく						8-(3) 鉄筋			12-(1) トンネル縦断							
			項 目	C	C (T)	D	T	T (L)	T (S)	A	A (T)	C	CⅠ-a-B	CⅡ-a-B	CⅢ-b-B	DⅠ-a-B	DⅡa-(1)-B	DⅡa-(2)-B	DⅢa-S1-B (本設前)
	単 位	m	m	m	m	m	m	t	t	t	m	m	m	m	m	m	m		
	1	本線 (下り線) (STA.1031+0~STA.1073+0)																	
	2	街路工 (STA.1033+28,659)		493.2		3.0			22,565		0.408								
	3	管渠工 (STA.1068+19,887)																	
	4	管渠工 (STA.1067+94,742)																	
5	管渠工 (STA.1071+75,498)		37.2					0.264											
6	共同溝		91.9		1.6			1,996		0.158									
7	擁壁工 市内橋入1本線 (STA.1070+20,5~STA.1072)		794.3		19.4			35,354		0.677									
8	擁壁工 市内橋入1 巻き込み (STA.1072~STA.1072+82,9)		1,071.1		23.7			81,442		1,683									
9	ブロック舗工 (STA.1033+28,659)																		
10	ブロック舗工 (STA.1038+79,3)		8.3																
11	ブロック舗工 (STA.1070+20,5~STA.1072)		4.6																
12	狩勝第一トンネル (下り線) (STA.1047+6~STA.1066+16)					66,198.6	3,150.1	631.4	401,144		77,253.8	20,730.6	23,710.9	11,175.9	29,533.9	958.2	9,274.6		
13	狩勝第一トンネル (調整連絡坑)																		
14	狩勝第一トンネル坑門工 (起点側)			1,033.7				43,514											
15	狩勝第一トンネル坑門工 (終点側)			926.3				32,628											
16	雪水リターン路																		
17	雪水リターン路 (暫定時)																		
18	トマム川A1管理用通路																		
19	トマム川A2管理用通路																		
20	トマム川橋工事用通路																		
21	工事用通路A																		
22	工事用通路B																		
	合 計		2,506.1	1,960.0	47.7	66,198.6	3,150.1	631.4	217,763	401,144	2,926	77,253.8	20,730.6	23,710.9	11,175.9	29,533.9	958.2	9,274.6	

正誤表(39)

工事件名) 道東自動車道 狩勝第一トンネル工事

修正箇所		正誤区分	
数量明細表	誤	数量明細表	
	正	数量明細表	